

4 2013年度予算の主な事業

(1) 新5ヵ年計画における主な取り組み

将来を担う人が育つまちをつくる

待機児童解消対策事業 12億7,198万円 (20ページ)

民間保育所や認定こども園の整備の支援、山崎保育園の移転新築等により、2014年4月に312人の定員増を図ります。

乳幼児発達支援施設整備事業 3,400万円 (21ページ)

子ども発達センターすみれ教室3階の改修により、療育環境を整備します。

地域子育て相談センター整備事業 2,896万円 (22ページ)

2014年4月から公立保育園に地域子育て相談センターを開設するため、執務・相談スペースを整備します。

小・中学校増改築事業 7,530万円 (23ページ)

鶴川第一小学校改築の基本・実施設計及び町田第一中学校改築の基本計画の作成を行います。

子どもセンター整備事業 3億160万円 (24ページ)

2014年1月の(仮称)忠生子どもセンター開館に向け、整備を進めます。また、町田地区子どもセンターの設計に着手します。

(仮称)忠生図書館整備事業 5,000万円 (25ページ)

2015年5月の開館(忠生市民センター内)に向け、図書を購入を進めます。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

安心して生活できるまちをつくる

- | | | |
|---|---------------------|----------|
| 地域高齢者支援事業 | 6,277 万円 | (26 ページ) |
| 地域における高齢者の見守りネットワーク拡大やあんしんキーホルダーの普及、相談窓口の増設を図ります。 | | |
| 高齢者福祉施設整備事業 | 3 億 5,351 万円 | (27 ページ) |
| 特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所等の整備を進めます。 | | |
| 重度障がい者通所施設整備事業 | 2,292 万円 | (28 ページ) |
| 医療的ケアを必要とする重度障がい者通所施設の整備費を補助します。 | | |
| 市民協働拠点づくり事業 | 850 万円 | (29 ページ) |
| 地域のことを地域が決める仕組みをつくります。また、地域の情報収集・発信や交流の場となる地域活動の窓口の設置に向け、地域の拠点づくりを進めます。 | | |
| 忠生市民センター建替事業 | 4 億 3,088 万円 | (30 ページ) |
| 図書館や乳幼児健診の設備を備えた地域の拠点として建替えを進めます。 | | |
| コミュニティセンター建替事業 | 3,172 万円 | (31 ページ) |
| 成瀬コミュニティセンター、玉川学園コミュニティセンターの建替えを進めます。 | | |
| 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 | 4 億 9,382 万円 | (32 ページ) |
| 「緊急輸送道路」の沿道建築物の耐震化を促進します。 | | |
| 住宅耐震促進事業 | 1 億 121 万円 | (33 ページ) |
| 木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援し、住宅の耐震化を促進します。 | | |
| 雨水管渠整備事業 | 8 億 8,410 万円 | (34 ページ) |
| 浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。 | | |
| マンホールトイレシステム整備事業 | 3,100 万円 | (35 ページ) |
| 災害時のトイレを確保するため、避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。 | | |
| 防災行政無線デジタル化事業 | 3 億 8,422 万円 | (36 ページ) |
| 既存の防災行政無線を順次デジタル化するとともに子局の増設などを行い、防災行政無線の再構築を進めます。 | | |

*緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業及び住宅耐震促進事業は、2012 年度3月補正予算額を含みます。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

賑わいのあるまちをつくる

- | | | |
|--|---------------------|----------|
| 中心市街地整備事業 | 2,903 万円 | (37 ページ) |
| 町田駅周辺の魅力を向上させるため、中心市街地の整備について検討を進めます。 | | |
| 創業支援・企業誘致推進事業 | 5,659 万円 | (38 ページ) |
| 起業・創業の支援、企業誘致及び企業支援を行い、市内経済の活性化を図ります。 | | |
| 食農創業推進事業 | 240 万円 | (40 ページ) |
| 商工業者の技術、知識と市内の豊富な地域資源を活かし、食と農の連携による新産業の創出を促進します。 | | |
| 小野路公園整備事業 | 1 億 1,100 万円 | (41 ページ) |
| 硬式高校野球西東京大会、「スポーツ祭東京2013」軟式野球競技開催に向け、整備を進めます。 | | |
| 野津田公園整備事業 | 1 億 800 万円 | (42 ページ) |
| 多世代が魅力を感じる公園を目指し、第二次野津田公園整備基本計画を策定します。 | | |
| みどりのまちづくり推進事業 | 2,006 万円 | (43 ページ) |
| 薬師池公園周辺地域を町田市の豊かなみどりのシンボルとして整備を進めます。 | | |
| 町田まるごとゆりーと祭り開催事業 | 1,500 万円 | (44 ページ) |
| 「スポーツ祭東京2013」の開催に向け、街の装飾やイベントの開催等を行います。 | | |
| スポーツ祭東京2013開催事業 | 2 億 4,801 万円 | (45 ページ) |
| 2013年9・10月に開催する「スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）」に向け、イベントや開催準備を進めます。 | | |
| 小野路宿里山交流館整備事業 | 1 億 9,030 万円 | (46 ページ) |
| 小野路宿通りに旧民家を活かした小野路宿里山交流館を開所します。 | | |
| シティプロモーション事業 | 2,018 万円 | (47 ページ) |
| まちの魅力が広く知られ、多くの人々が訪れたいと感じるまちをつくるため、「(仮称)まちだシティプロモーション推進計画」を策定し、具体的な活動に着手します。 | | |



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

暮らしやすいまちをつくる

循環型施設整備事業	1億813万円	(48ページ)
循環型社会の形成に向け、ごみ処理施設等の整備を進めます。		
都市計画道路線形検討事業	3,200万円	(51ページ)
多摩都市モノレール構想路線など、優先的に整備する路線の検討を進めます。		
都市計画道路整備事業	16億786万円	(52ページ)
都市計画道路や南町田駅・相原駅の駅前広場を整備します。		
鉄道延伸検討事業	1,003万円	(54ページ)
小田急多摩線、多摩都市モノレールの延伸について検討・調査を進めます。		
路線バス利用促進事業	7,135万円	(55ページ)
バス路線網再編に向けての検討や路線バス利用環境の整備を進めます。		
鶴川駅周辺街づくり事業	1,006万円	(56ページ)
鶴川駅南側の街づくり、駅前広場の整備について検討を進めます。		
団地再生推進事業	588万円	(57ページ)
団地とその周辺地域の特性や魅力に応じた、「団地再生」について検討します。		
北部丘陵整備事業	1億439万円	(58ページ)
地域の営農環境や生活環境の向上や、農とふれあうために訪れる市民の利便性を高めるため、拠点整備などの事業を実施します。		
公園整備事業	6億4,642万円	(60ページ)
薬師池公園周辺の公園、緑地や市域の街区公園について整備を進めます。		
新たな分別排出方法推進事業	2,307万円	(61ページ)
新たな分別排出方法モデル地域を選定し、プラスチックごみの分別収集を実施します。		



(2) その他の取り組み

政策研究事業	1,924万円	(62ページ)
社会・経済状況の変化に対応し、時代に適した政策や施策の調査研究を行います。		
日本庁舎跡地整備事業	1億7,500万円	(63ページ)
日本庁舎跡地を「新たな賑わいを生み出す」ための芝生広場として整備します。		
備蓄物資等整備事業	1億127万円	(64ページ)
災害時に必要な備蓄資機材・食糧等を整備します。		
胃の健康度チェック(ABC検査)の導入	2,548万円	(65ページ)
胃がんなどの疾患予防に向け、ヘリコバクター・ピロリ菌等検査を導入します。		
中学校不適應生徒支援事業	839万円	(66ページ)
問題行動を起こす生徒に対する専門対策チーム「まちだJUKU」を設置します。		
図書館ICタグシステム導入事業	6,304万円	(67ページ)
ICタグを利用したサービス(自動貸出機の設置等)稼動に向け、準備を進めます。		

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件名	待機児童解消対策事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,271,984		0	686,047	259,100	0	326,837

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 318～320・322 ページ

市は、保育サービスの充実と待機児童解消に取り組むため、「町田市保育サービス3ヵ年計画（2012～2014年度）」に基づき、保育所の整備等を進めています。

2013年度は、①20年間期間限定認可保育所を含む民間保育所の整備支援、②認定こども園の整備支援、③公立保育園の整備、④家庭的保育者の増員によって、計312人の定員増を図ります。

【主な事業の内容・事業費・特定財源】

①民間保育所の整備支援 631,092千円（主な特定財源 子育て支援対策事業費臨時特例補助 387,634千円）

主な事業内容	定員	定員増	開所予定
20年間期間限定認可保育所<新築型>への整備費補助	100人×2園	200人	2014年4月
しぜんの国保育園への増改築整備費補助 (2012～2013年度債務負担行為事業)	115→170人	55人	2014年4月
たかね第二保育園への増改築整備費補助 (2012～2013年度債務負担行為事業)	116→131人	15人	2014年4月
合計		270人	

②認定こども園の整備支援 137,312千円（主な特定財源 子育て支援対策事業費臨時特例補助 117,696千円）

事業内容	定員	定員増	開所予定
幼保連携型認定こども園への整備費補助 (幼稚園に併設する3歳未満児対象の保育施設)	40(認可外) →50人	10人	2014年4月

③公立保育園の整備 380,418千円（特定財源 市町村総合交付金 67,000千円、保育所整備事業債 203,000千円）

1971年4月に開所し、施設の老朽化が進んでいる山崎保育園の建替えを行います。また、2014年4月の民設民営化に向け、森野保育園・本町田保育園の改修工事を行います。

主な事業内容	定員	定員増	開所予定
山崎保育園の建替え 場所：町田市山崎1丁目2261番3外（旧忠生第五小学校） 規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て 延床面積 1,204.01㎡ ○新たに0歳児保育・一時保育の実施 ○延長保育時間の延長（19時を20時まで）に延長 ○忠生地域子育て相談センターの設置	100→122人	22人	2014年4月

④家庭的保育者の増員（3歳未満児対象） 123,162千円（特定財源 家庭的保育事業費補助 73,717千円）

事業内容	定員	定員増	新規開始予定
家庭的保育者の増員 17人→19人	81→91人	10人	2013年10月

※家庭的保育者数、定員数には、2012年度末に行う契約保育室からの移行分を含みます



問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 小池	電話	724-2138
--------	-------------------	----	----------

件名	乳幼児発達支援施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
34,000		0	0	0	34,000	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 305 ページ

町田市子ども発達センターすみれ教室では、0歳から小学校就学前までの発達に遅れや心配のある子どもを対象として、療育を通して生活技能の習得や自立を手助けするとともに、保護者の悩みに寄り添い子育てを支援しています。

すみれ教室の利用者数や相談件数は年々増加しており、療育のグループ数や1つのグループ人数を増やし対応しています。しかし、現状ではこれらに対応する部屋数が不足しており、狭隘化している部屋をさらに分割するなどして対応している状況です。この状況を改善するため、療育室の確保など療育環境の整備が課題となっています。

＜ すみれ教室の利用者数、新規相談件数の推移＞ (人/件)

年度	利用者数	対前年度比	新規相談件数	対前年度比
2008	702	+ 33	327	+ 31
2009	725	+ 23	349	+ 22
2010	755	+ 30	359	+ 10
2011	843	+ 88	420	+ 61

【事業の内容】

○すみれ教室 3階にある会議室 2室を療育室に改修するとともに、3階の既存の相談室等も改修を行い、2013年10月(予定)から活用します。

- ・窓枠の改修、床面の補強など安全面に配慮し、療育に適した環境に整備します。
- ・子どもが利用できるトイレを整備します。
- ・相談者のプライバシーにより配慮するため、相談室の間仕切りを改良します。

○療育環境の整備により、療育室の狭隘化を改善し、利用者の増加に対応します。

【事業費】

改修工事費 34,000 千円

【特定財源】

町田市福祉基金 34,000 千円



問い合わせ先	子ども生活部 すみれ教室所長 塩田	電話	726-6570
--------	-------------------	----	----------

件名		地域子育て相談センター整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
28,964		0	11,000	0	0	17,964

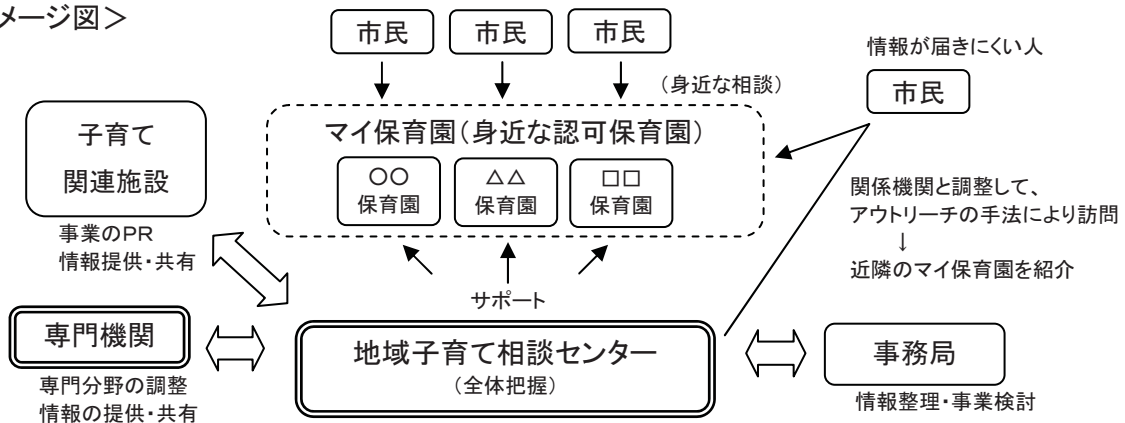
【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 322 ページ

市では、「安心して、楽しく子育てができるまち」を目指して、2014 年度から公・私立保育園による「(仮称)マイ保育園(かかりつけ窓口)事業」を実施する準備を進めています。この事業の地域拠点となる『地域子育て相談センター』を、2014 年 4 月から公立保育園(5 か所)に開設します。

地域子育て相談センターでは、(仮称)マイ保育園事業の推進のほか、施設や個人への出張子育て相談等(アウトリーチ)事業を中心に、地域の子育て関連施設への後方支援、専門的な分野を所管する部署への協力など、地域の子育て力を発揮させ、子育て家庭の孤立を防ぐための事業を展開し、地域全体での子育て支援の充実を目指します。

<イメージ図>



【事業の内容】

2014 年 4 月からの「地域子育て相談センター」開設に向け、各公立保育園内に執務・相談スペースを整備します。

地域	設置保育園	執務・相談スペース設置場所
堺	こうさぎ	執務スペースを 1 階現事務所内に、相談スペースを 2 階に設置
南	金 森	敷地内に専用施設を設置
鶴川	大 蔵	3 階に設置
町田	町 田	1 階の現事務所及び和室を改修し設置
忠生	山 崎	山崎保育園の建替に伴い、1 階に設置

【主な事業費】


工事請負費（南地域）	17,000 千円
（町田地域）	5,000 千円
備品購入費（5 か所分）	6,000 千円

【特定財源】

市町村総合交付金	11,000 千円
----------	-----------

問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 小池	電話	724-2138
--------	-------------------	----	----------

件名		小・中学校増改築事業									
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
75,300			0	0	0	0	75,300				
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 528・538 ページ									
<p>市の学校施設は、建築後50年以上経過した学校が1校（町田第一中学校）、40年以上経過した学校が21校（鶴川第一小学校など）あります。</p> <p>すべての学校を改築することは財政的に大きな負担となるため、施設の長寿命化を考える必要があります。改修によって長寿命化が可能な学校は改修を行い、改修を行っても問題の解消が困難な学校については改築を行います。改築対象校としては学習環境に問題が生じている学校（例：増築を重ねた結果、ゾーニングが崩れ、特別教室や普通教室が点在しているなど指導上問題がある）、構造上問題があり改修では対応できない学校（例：コンクリートの劣化など構造上問題がある）を考えています。</p> <p>本事業では、2014年度着工を目指し、鶴川第一小学校改築基本・実施設計を行っております。また、町田第一中学校においても2016年度着工を目標に、改築基本計画を作成します。</p>											
【事業の内容】											
鶴川第一小学校											
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:33%;">2011年度 基本計画</td> <td style="width:10%; font-size:2em;">⇒</td> <td style="width:33%;">2012-2013年度 基本・実施設計</td> <td style="width:10%; font-size:2em;">⇒</td> <td style="width:14%;">2014年度～ 工事着工</td> </tr> </table>							2011年度 基本計画	⇒	2012-2013年度 基本・実施設計	⇒	2014年度～ 工事着工
2011年度 基本計画	⇒	2012-2013年度 基本・実施設計	⇒	2014年度～ 工事着工							
町田第一中学校											
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:33%;">2013年度 基本計画</td> <td style="width:10%; font-size:2em;">⇒</td> <td style="width:33%;">2014-2015年度 基本・実施設計</td> <td style="width:10%; font-size:2em;">⇒</td> <td style="width:14%;">2016年度～ 工事着工</td> </tr> </table>							2013年度 基本計画	⇒	2014-2015年度 基本・実施設計	⇒	2016年度～ 工事着工
2013年度 基本計画	⇒	2014-2015年度 基本・実施設計	⇒	2016年度～ 工事着工							
【事業費】											
鶴川第一小学校											
基本・実施設計業務委託料 69,000 千円											
（2012-2013年度債務負担行為事業 総額 94,987 千円）											
町田第一中学校											
基本計画作成業務委託料 6,300 千円											
【主な特定財源】											
国庫負担金（増築） 補助率：1／2											
学校施設環境改善交付金（改築） 補助率：1／3											
問い合わせ先	学校教育部 施設課長 佐藤			電話	724-2948						

件名		子どもセンター整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
301,598			13,910	76,210	145,200	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		330 ページ
<p>地域の子育て・児童の健全育成の拠点として、「子どもセンター基本構想」に基づき、子どもセンターを整備します。現在、4 館目となる子どもセンターを忠生地区に、5 館目を町田地区に建設等を進めています。</p>						
【事業の内容】						
① (仮称)忠生子どもセンターの整備						
開館	2014 年 1 月(予定)					
場所	町田市忠生 1-11-1 (忠生地区交番隣)					
規模	地上 2 階地下 1 階建て 延床面積 1,563 m ² (駐車場 448 m ² 含む)					
施設概要	のびのび遊べる大きなプレイルーム 授乳室が併設され安心して遊べる乳幼児スペース 読み聞かせコーナーもある図書スペース バンド練習ができるスタジオ など					
② 町田地区子どもセンターの整備						
2013 年度は、地域で活動されている住民の方々や、学識経験者そして利用主体である子どもたちの検討により2012 年度中に策定する基本計画をもとに、基本設計及び実施設計に着手します。設計にあたっては、地域の方々や子どもたちの意見を反映できるよう、ワークショップ等の実施も予定しています。						
建設予定地	町田市中町 1-351-2 (市役所第 2 駐車場)					
想定規模	延床面積 1,500 m ² 程度					
【主な事業費】						
① (仮称)忠生子どもセンター建設工事費	254,541 千円 (一部 2012～2013 年度債務負担行為事業)					
② 町田地区子どもセンター基本設計	8,673 千円					
" 実施設計	7,803 千円 (2013～2014 年度債務負担行為事業)					
【特定財源】						
①(仮称)忠生子どもセンター						
次世代育成支援対策施設整備交付金(国)	13,910 千円					
市町村総合交付金(都)	26,000 千円					
児童館整備費補助(都)	13,910 千円					
子ども家庭支援包括補助事業費補助(都)	36,300 千円					
児童福祉施設整備事業債	145,200 千円					
						
(仮称)忠生子どもセンター建設準備委員会による、建設予定地での夏まつり						
問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 平林			電話	724-2182	

件名	(仮称) 忠生図書館整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
50,000		0	0	0	0	50,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 565 ページ

現在建替えを予定している忠生市民センター内に、鶴川駅前図書館に続くコミュニティ施設との複合施設内の地域図書館として、市内で8館目となる(仮称)忠生図書館を整備します。

【事業の内容】

○(仮称)忠生図書館の概要

場所	町田市忠生 3-14-2 忠生市民センター内
規模	延床面積約 1,200 m ² 地上 3 階建ての 2・3 階部分 2 階: 開架スペース 3 階: 事務スペース、閉架書庫
特色	(1) 忠生地域密着型の図書館 (2) 子ども読書活動推進計画のモデル図書館 (3) 世代を超えて交流のできる図書館
収蔵可能冊数	10 万冊(予定) 開架スペース 7 万 5 千冊(一般書 5 万、児童書 2 万 5 千冊) 閉架書庫 2 万 5 千冊

○スケジュール

2013 年度	図書の選定・購入・装備 (約 32,000 冊)
2014 年度	図書の選定・購入・装備 (約 32,000 冊) 備品購入等開館準備
2015 年度	5 月開館 (予定)

【事業費】

図書の購入、装備、保管等の図書整備委託料 50,000 千円
(2013～2014 年度債務負担行為事業 総事業費 100,000 千円)



問い合わせ先	生涯学習部 図書館長 尾留川	電話	728-8220
--------	----------------	----	----------

件名		地域高齢者支援事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
62,769		0	31,130	0	500	31,139

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 255 ページ

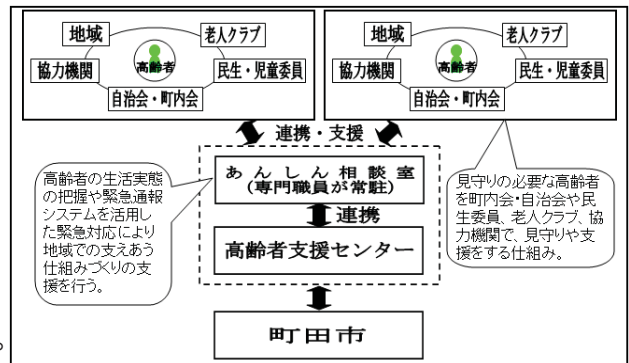
一人暮らし高齢者世帯、高齢者のみ世帯、日中独居の高齢者が今後も増加するため、老化等による閉じこもり、認知症による徘徊等の増加が見込まれます。そこで、地域でのネットワークづくりをはじめとした見守り体制の強化や認知症高齢者の支援を充実させることが必要です。

【事業の内容】

①「あんしん相談室」の設置

高齢者やその家族からの様々な相談に応じ、地域のネットワークの支援を行うため、社会福祉士などの専門職を配置した「あんしん相談室」を設置します。高齢者からの相談や生活実態の把握、緊急通報システムを活用した見守り支援を行います。

現在の4箇所に加え、新たに2箇所設置します。



②認知症高齢者相談事業(もの忘れ相談)

認知症の悩みなどについて、本人や家族などが気軽に専門医や臨床心理士に相談できるよう毎月1回、市内8箇所の高齢者支援センターで相談事業を行います。

③高齢者見守り支援ネットワーク推進事業

一人暮らし高齢者世帯、高齢者のみ世帯に対し、高齢者の変化に早めに気づき必要な支援を行うため、町内会自治会や高齢者支援センターなどによるネットワークの構築を進めます。

2013年度は、すでに開始している6地区に加え、新たに2地区で実施します。

④高齢者あんしんキーホルダー事業

高齢者が住所、氏名、緊急連絡先などの情報を担当する地区の高齢者支援センターに事前に登録し、キーホルダーを身につけることで、外出時の「もしもの時」に、高齢者支援センターを通じて早急に登録してあるご家族などに連絡がとれるようにするものです。

市内すべての高齢者支援センター(12箇所)で実施します。



【主な事業費】

① あんしん相談室事業委託料	47,882 千円
② 認知症高齢者相談事業委託料(もの忘れ相談)	7,510 千円
③ 高齢者見守り支援ネットワーク推進事業委託料	1,913 千円
④ 高齢者あんしんキーホルダー事業委託料	2,880 千円

【主な特定財源】

シルバー交番設置事業費(都)	23,939 千円
高齢社会対策包括補助事業(都)	7,191 千円

〈あんしんキーホルダー〉

担当の高齢者支援センターの連絡先と本人を確認するための番号が記載されています。

問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課地域支援担当課長 北澤	電話	724-4048
--------	---------------------------	----	----------

件名		高齢者福祉施設整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
353,510			0	337,600	11,000	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 256 ページ		
<p>第5期町田市介護保険事業計画において、市は、自分に合った施設を選択できるようにすることを基本目標に掲げています。高齢者がいつまでも自分らしく、安心して生活を続けられるための施設を一人ひとりの状況に応じて選択できるよう、特別養護老人ホームや地域密着型サービスの整備を進めます。</p>						
【事業の内容】						
① 民設高齢者福祉施設整備補助事業						
<p>要介護認定者の増加や特別養護老人ホーム入所待機者の状況を踏まえ、入所待機者の解消を図るため、東京都から整備運営事業者への補助に加え、市独自で当該工事出来高に対する施設整備費補助を行います。</p>						
	既存分	2013年度建設（着工）予定分		累計		
施設数	20施設	3施設 （うち1施設は増改築）		22施設		
床数	1,854床	205床		2,059床		
○市整備費補助額（新設・増床）1床あたり1,500千円（改築）1床あたり500千円						
② 地域密着型サービス整備事業						
<p>要介護、要支援の認知症高齢者が住みなれた地域での生活を継続できるよう、在宅介護の支援や認知症高齢者をサポートする施設整備を行います。この中で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護と複合型サービスは、2012年の介護保険法改正による新サービスで、市内で初めての整備となります。</p>						
	既存分	2013年度整備予定分		累計		
認知症高齢者グループホーム	17施設・定員270人	2施設・定員36人		19施設・定員306人		
小規模多機能型居宅介護施設	4施設	2施設		6施設		
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護事業所	—	2事業所		2事業所		
複合型サービス事業所	—	2事業所		2事業所		
【事業費】						
①民設高齢者福祉施設整備補助事業補助金		15,910千円				
②地域密着型サービス整備事業補助金		337,600千円				
（内訳）・認知症高齢者グループホーム		221,600千円				
・小規模多機能型居宅介護施設		66,000千円				
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所		10,000千円				
・複合型サービス事業所		40,000千円				
【特定財源】						
認知症高齢者グループホーム整備費補助（都補助率10/10）		140,000千円				
地域密着型サービス整備費補助（都補助率10/10）		197,600千円				
高齢者福祉施設整備事業債		11,000千円				
問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課長 西原			電話	724-4048	

件名	重度障がい者通所施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
22,920		0	0	18,000	0	4,920

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 219 ページ

現在、町田市において医療的ケアを必要とする重度障がい者が日中に通所することができる場としては、わさびだ療育園やひかり療育園等の5箇所がありますが、市内の特別支援学校に在籍し、医療的ケアを必要とする重度障がい児の卒業生の通所先の確保が、既存の施設だけでは困難となってきました。

町田市では、2010年7月に「重度障がい者通所施設整備方針」を定め、障害者自立支援法に基づく「町田市障がい福祉事業計画（第3期計画）」、及び「町田市新5ヵ年計画」においても施設整備の計画を明記し、準備を進めてきました。

そこで、医療的ケアを必要とする重度障がい者の通所施設整備を促進する事業者に対して補助を行い、施設を整備することで障がい者福祉の促進を図ります。

【事業の内容・事業費】

■新規「重度障がい者通所施設」施設整備費補助

《2013年度～2014年度 債務負担行為事業》

市内で建設を予定している重度障がい者通所の整備費に対して補助を行います。

◆市補助額 2013年度 22,920千円／2014年度 57,080千円

運営主体	建設予定地	定員	延床面積	竣工予定
(社福)県央福祉会	図師町 3215 番地 1 外	30 名	656.62 m ²	2014 年 6 月

【特定財源】

障がい者福祉施設整備事業債 18,000 千円



問い合わせ先	地域福祉部 障がい福祉課長 稲田	電話	724-2136
--------	------------------	----	----------

件名	市民協働拠点づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,500		0	0	0	0	8,500

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 165 ページ

地域では、町内会・自治会などの地域の団体やNPO法人などテーマ型の団体が、子育て・防災・福祉など、地域の課題や社会問題の解決に向けた取り組みをしています。一方で、住民が地域に何らかの形で関わりたいと考えたとき、どこで地域の情報を得られるかわかりにくい状態です。

情報を積極的に発信することで、自分の住む地域に関心を持ち、地域に関わろうとする住民が増えます。多くの住民が地域で活動し、地域全体で課題を認識することで、関係団体が協力・連携しながら地域の特性や資源を活用した問題解決に向けた取り組みができるかと期待されます。

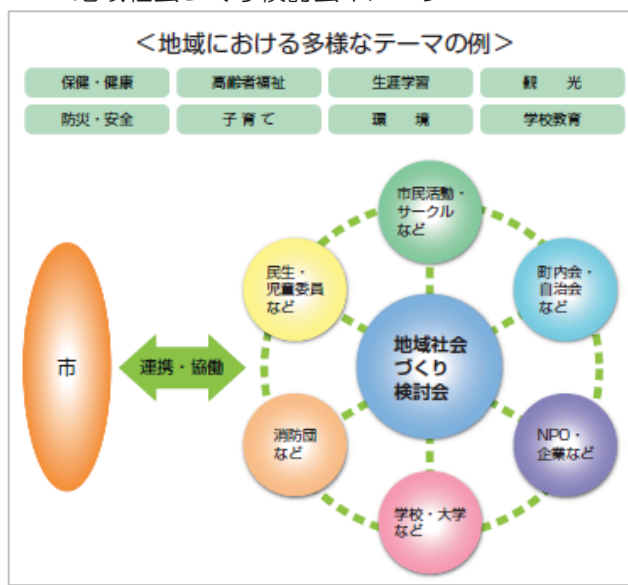
そこで、地域の情報を集約し、情報収集や情報発信ができ、地域交流や課題を認識する場が求められています。

【事業の内容】

町内会・自治会や地域で様々な分野で課題解決に取り組んでいる NPO 法人などが、地域での協議を進める組織（地域社会づくり検討会）を構築し、地域のことを地域が決める仕組みづくりを進めます。

- ・「地域社会づくり検討会」の立ち上げに向けた、仕組みづくりおよび計画を策定します。
- ・「地域社会づくり検討会」の設立に向け、地域でワークショップを開催します。
- ・「地域社会づくり検討会」が設立された地域に活動に対する補助金を交付します。

地域社会づくり検討会イメージ



【事業費】

- ・地域社会づくり計画作成支援業務委託料 4,000 千円
- ・地域社会づくり検討会支援組織運営委託料 1,500 千円
- ・地域社会づくり検討会補助金 3,000 千円

町田市市民活動応援キャラクター



問い合わせ先	市民部 市民協働推進課長 小山	電話	724-4362
--------	-----------------	----	----------

件名		忠生市民センター建替事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
430,875			0	50,000	300,000	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 164 ページ		
<p>地域で活動している市民団体や芸術・文化活動を行う団体などに活動の場を提供し、人と人がつながって地域を支えるまちづくりの拠点として、老朽化した忠生市民センターを建替えます。建替えにあたっては、図書館や乳幼児健診施設も備えた複合施設とします。</p>						
【事業の内容】						
規模・構造：敷地面積 5,878 m ² ／延床面積約 4,680 m ² ・鉄筋コンクリート造 地上 3 階建て						
施設	現在	建替後	機能拡充のポイント			
行政サービスと地域活動の窓口	260 m ²	480 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点として地域活動室（定員 30 名）を設置 ・災害時は地域活動室に消防団分団本部を開設し、情報連絡拠点として活用 ・相談ブースの設置やカウンター前のスペースの充実 			
図書施設	図書室 60 m ²	図書館 1,200 m ²	新たに市立図書館を設置（蔵書冊数約 10 万冊を予定）			
コミュニティ施設	ホール 他 5 室 470 m ²	ホール 他 8 室 1,090 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス、軽スポーツ、集会等に利用できる多目的ホールとして、規模・設備を拡充（定員：300 名） ・防音設備を備えた多目的室、会議室、和室、料理講習室を設置し、規模・設備を充実 			
出会い・交流・憩いのエリア	40 m ²	530 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報や市民活動情報の受発信の場とするための展示スペース、エントランスロビー、交流スペースを設置 ・キッズコーナー、授乳室を設置 			
乳幼児健診施設	—	330 m ²	乳幼児集団健診施設を設置			
その他	470 m ²	1,050 m ²	非常用発電機室（72 時間対応）、防災備蓄倉庫等を設置			
合計	1,300 m ²	4,680 m ²				
駐車場台数	27 台	63 台	障がい者用 2 台、思いやり駐車区画 4 台			
【事業スケジュール】						
2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度			
■基本設計・実施設計 （2 年目／2 カ年設計）	<ul style="list-style-type: none"> ■仮設庁舎設置 ■建築工事着工 （1 年目／3 カ年工事） 	<ul style="list-style-type: none"> ■建築工事完了 （2 年目／3 カ年工事） ■忠生市民センターオープン（15 年 2 月） 	<ul style="list-style-type: none"> ■外構工事完了 （3 年目／3 カ年工事） ■乳幼児健診開始（4 月） ■図書館業務開始（5 月） 			
【主な事業費】						
工事請負費 400,000 千円（2013～2015 年度債務負担行為事業 総事業費 1,441,000 千円）						
仮設庁舎借上料 27,000 千円（2012～2014 年度債務負担行為事業 総事業費 57,000 千円）						
【特定財源】						
市町村総合交付金 50,000 千円 忠生市民センター建替事業債 300,000 千円						
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 河野			電話	724-4346	

件名		コミュニティセンター建替事業 (成瀬コミュニティセンター・玉川学園コミュニティセンター)				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
31,724			0	10,000	0	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 164 ページ				
<p>老朽化した施設の建替えにあたり、より一層使いやすい施設とするために、施設のあり方について市民とともに検討を進め、順次整備していきます。</p> <p>町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」に掲げる「未来づくりプロジェクト」では、防災・安全、保健・健康、福祉、環境など、地域ごとのさまざまな分野の課題を解決するため、地域の多様な担い手と市の協働による地域社会づくりを目指しています。建替事業の推進にあたっては、その活動を支えるための拠点としても整備をしていきます。</p>						
【事業の内容】						
施設名	成瀬コミュニティセンター		玉川学園コミュニティセンター			
開設年	1970(S45)年		1974(S49)年			
所在地	成瀬 2141-1		玉川学園 2-19-12			
現施設の主な機能	○貸出施設 ・ホール ・会議室(3室) ・和室(2室) ・多目的室 ・小会議室 ・スポーツ室 ・グラウンド ○地域文庫		○証明発行窓口 ○児童図書室 ○貸出施設 ・ホール ・会議室(3室) ・和室 ・いこいの間			
2013年度事業概要	○基本設計・実施設計(2年目/2カ年設計)		○「建替検討委員会」設置 ○「建替検討市民ワークショップ」開催 ○基本計画策定			
【事業スケジュール】						
施設	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
成瀬コミュニティセンター	■基本設計・実施設計(1年目/2カ年設計)	■基本設計・実施設計(2年目/2カ年設計)	■建設工事(1年目/2カ年工事)	■建設工事完了(2年目/2カ年工事)		
玉川学園コミュニティセンター		■基本計画策定	■基本設計・実施設計(1年目/2カ年設計)	■基本設計・実施設計(2年目/2カ年設計)	■建設工事(1年目/2カ年工事)	■建設工事完了(2年目/2カ年工事)
【主な事業費】						
◆ 成瀬コミュニティセンター						
□基本設計・実施設計委託 20,324千円(2012～2013年度債務負担行為事業 総事業費 51,000千円)						
◆ 玉川学園コミュニティセンター						
□基本計画策定支援委託 4,101千円 □測量委託料 3,036千円						
【特定財源】						
市町村総合交付金 10,000千円(成瀬コミュニティセンター)						
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 河野			電話	724-4346	

件名		緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
47,856 (445,967)		19,318 (396,299)	18,000	0	0	10,538 (49,668)

※括弧内は 2012 年度 3 月補正予算額

Ⅱ 部・局別予算概要 442 ページ

【事業の背景・目的】

大規模地震の発生による道路の閉塞を防ぎ、避難や救助活動、物資の輸送が行えるように「緊急輸送道路」※1 沿道の建築物の耐震化を推進するため、耐震化に要する費用の一部を補助しています。

特に「特定緊急輸送道路」※2 沿道建築物については、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」において対象となる物件の耐震診断実施が義務化されており(2013 年度末まで)、重点的に耐震化を進めます。

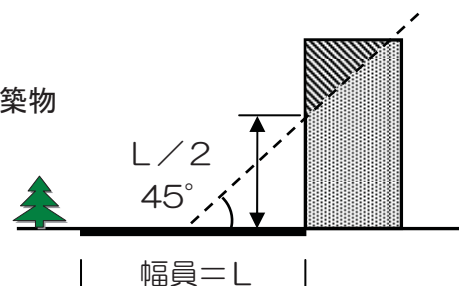
※1 緊急輸送道路：町田街道や鎌倉街道など、防災上重要な幹線道路で東京都が指定した道路

※2 特定緊急輸送道路(耐震診断義務化路線)：緊急輸送道路のうち、特に沿道建築物の耐震化を推進する必要がある道路

【事業の内容】

○耐震改修事業の対象になるのは、下記の条件に全て該当する建築物

- ・敷地が緊急輸送道路に接している建築物
- ・1981 年 5 月 31 日以前に着工された建築物
- ・道路幅員のおおむね 1/2 以上の高さである建築物



○所有者・管理者等に対し、パンフレットの配布や電話及び訪問等により、耐震診断の義務化についての周知と耐震診断の実施を促します。

○所有者・管理者等に対し、随時耐震診断・設計・改修について申請に基づき補助事業を実施します。

○補助の限度額

①助成対象費用の限度額

イ 面積 1,000 ㎡以内の部分	2,000 円/㎡
ロ 面積 1,000 ㎡を超えて 2,000 ㎡以内の部分	1,500 円/㎡
ハ 面積 2,000 ㎡を超える部分	1,000 円/㎡

②助成率(事業費に対する率)

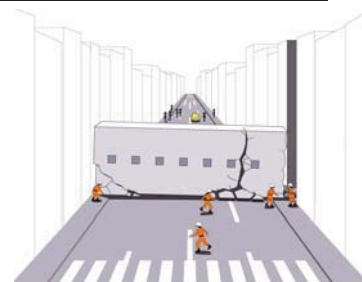
	耐震診断	耐震設計	耐震改修
緊急輸送道路(特定)	10/10	5/6	5/6
緊急輸送道路(一般)	4/5	2/3	2/3

【事業費】

・緊急輸送道路沿道建築物耐震促進助成金 47,856 千円

【特定財源】

・社会資本整備総合交付金(国) 19,318 千円
 ・耐震改修費補助金(都) 18,000 千円



問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 端	電話	724-4269
--------	-------------------	----	----------

件名		住宅耐震促進事業				
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
31,764 (69,443)			10,346 (55,460)	256	0	0

※括弧内は 2012 年度 3 月補正予算額

Ⅱ 部・局別予算概要 453 ページ

【事業の背景・目的】

町田市では、大規模地震発生による住宅の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、地震対策として住宅の耐震化を新 5 カ年計画における重点事業として位置付け、木造住宅の耐震診断や耐震設計および工事の支援、分譲マンションの耐震診断の支援などの事業により耐震化を推進しています。

【事業の内容】

- 本制度による診断、助成の対象となる建物は、市内にあり、1981 年 5 月 31 日以前に着工し、自らが居住している木造住宅、分譲マンションです。
 - 簡易耐震診断(木造住宅)は、無料で受けることができます。
 - 耐震診断(木造住宅は精密耐震診断)、地震に対して安全な構造とするための耐震設計、耐震改修工事、耐震シェルター等設置に対し、それぞれに要した経費の一部を市が助成します。
 - 各地域で耐震相談会等を実施し、耐震化の必要性和助成制度の周知など、普及啓発を行っています。
- ※その他、木造住宅耐震アドバイザー派遣事業、分譲マンション耐震アドバイザー助成事業、について助成事業があります。
- ※高齢者世帯の耐震改修工事・耐震シェルターは、上限額に上乗せがあります。

項目	内容	件数(※)
木造住宅簡易耐震診断事業	市が診断士を派遣	0 件 (350 件)
木造住宅精密耐震診断助成事業	経費の 1/2	10 万円上限 50 件 (100 件)
木造住宅耐震設計助成事業		10 万円上限 50 件 (50 件)
木造住宅耐震改修工事助成事業		50 万円上限 20 件 (30 件)
木造住宅耐震シェルター等設置助成事業		20 万円上限 5 件 (0 件)
分譲マンション耐震診断・設計助成事業	経費の 2/3	500 万円上限 0 件 (5 件)

※件数欄の括弧内は、2012 年度 3 月補正予算に計上した件数

【主な事業費】

- ・住宅耐震促進助成金 21,089 千円
(精密診断、耐震設計、改修工事助成)
- ・住宅耐震促進委託料 10,475 千円
(市が実施する簡易診断、耐震アドバイザー)



【特定財源】

- ・社会資本整備総合交付金(国) 10,346 千円
- ・住宅費補助金(都) 256 千円

問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 端	電話	724-4269
--------	-------------------	----	----------

件名		雨水管渠整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
884,100			142,000	7,178	624,100	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 470 ページ		
<p>近年多発するゲリラ豪雨による都市型の浸水被害が大きな社会問題となっており、その対策が求められています。</p> <p>そこで、過去15年間の浸水被害箇所の降雨規模と被害状況を分析して、浸水被害対策を図る地区を抽出し、この地区の雨水管渠整備事業を優先的にを行います。</p> <p>また、道路拡幅事業にあわせた、雨水管渠整備を行います。</p>						
【事業の内容】						
<p>①小川1号雨水幹線工事(つくし野・南つくし野) 延長 241m</p> <p>②小山3号雨水幹線工事 延長 30m</p> <p>③小山5号雨水幹線工事 延長 120m</p> <p>④小野路1号雨水幹線工事 延長 125m</p> <p>⑤木曽西雨水枝線工事 延長 856m</p> <p>⑥相原町雨水枝線工事 延長 339m</p> <p>合計 1,711m</p>						
【主な事業費】						
管渠等整備委託料 864,000 千円						
幹線・枝線管渠工事費 5,100 千円						
【特定財源】						
社会資本整備総合交付金(国) 142,000 千円						
下水道費補助(都) 7,178 千円						
下水道事業債 624,100 千円						
問い合わせ先	下水道部 下水道整備課長 福田			電話	724-4296	

件名	マンホールトイレシステム整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
31,000		0	0	0	0	31,000

Ⅱ 部・局別予算概要 470 ページ

【事業の背景・目的】

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、トイレが使用できなくなる状況が発生し、衛生環境の悪化により被災者の精神的ストレスの原因につながりました。

首都直下地震の発生が懸念される中、多くの避難者が集まる避難施設でのトイレの確保は急務となっています。

そこで、避難施設の衛生面を保ち、被災時の市民の健康を守るために、市内の避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。マンホールシステムは2016年度までに地域バランスを考慮して避難施設7箇所に設置します。

【事業の内容】

2013年度は市内避難施設2箇所にマンホールトイレシステムを設置します。

＜設置場所＞

相原小学校

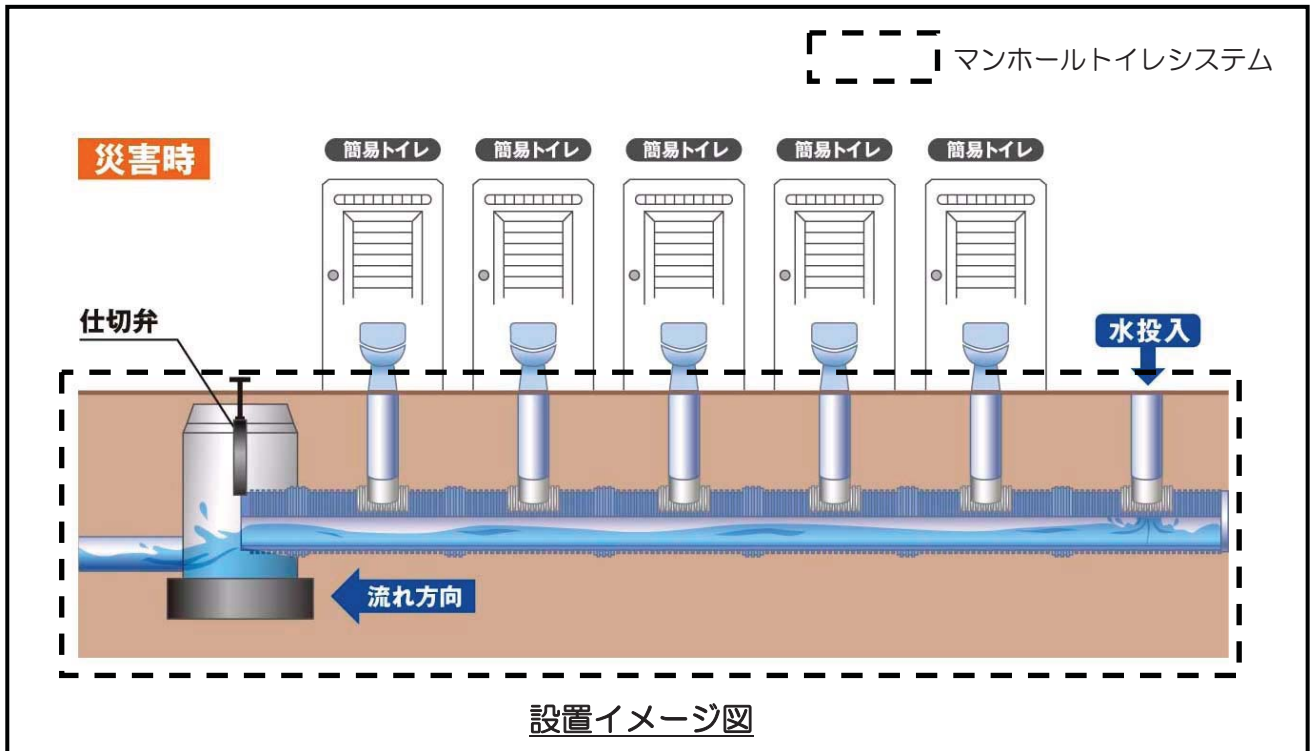
南大谷小学校

※ 1箇所あたり10基のマンホールトイレシステムを整備します。

【事業費】

マンホールトイレシステム実施設計委託料 1,000 千円

マンホールトイレシステム設置工事費 30,000 千円



設置イメージ図

問い合わせ先	下水道部 下水道整備課長 福田	電話	724-4296
--------	-----------------	----	----------

件名		防災行政無線デジタル化事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
384,215		138,518	0	245,600	0	97

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 181 ページ

町田市の防災行政無線は、移動系が 1987(昭和 62)年度、固定系が 1991(平成 3)年度に整備されたもので、機器の老朽化が進んでいます。また、国より現行のアナログ方式の防災行政無線から、できるだけ早期にデジタル方式に移行することも求められています。

このため、固定系・移動系の親局及び中継局の整備を行います。子局や移動系無線についても、既存機器の有効活用を図りながら、劣化の状態により順次更新を行います。

【事業の内容】

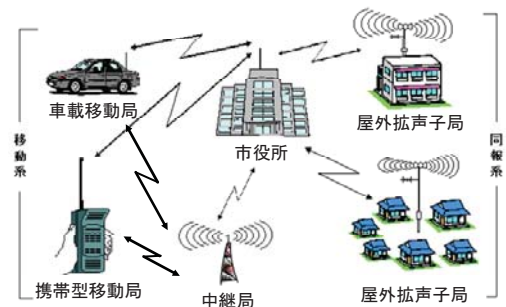
既存の固定系無線局(244局)・移動系無線局(191台)を順次デジタル化するとともに、屋外拡声子局の増設等により、無線難聴地帯を減少していきます。

		～2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
方式		アナログ	アナログ デジタル	アナログ デジタル	アナログ デジタル	アナログ デジタル	アナログ デジタル	デジタル化
事業内容	固定系	2009 ～2012 年度 調査・設計	親局、中継局、屋外拡声子局 65局		屋外拡声子局 92局	屋外拡声子局 92局	屋外拡声子局 91局	
	移動系			親局、中継局、移動系無線 191台				

【事業費】

固定系親局・中継局・子局 65 局のデジタル化更新・新設・・・384,215 千円

防災行政無線デジタル化イメージ



【主な特定財源】

防衛施設周辺民生安定施設整備費補助金	56,518 千円
都市防災総合推進事業費補助金	82,000 千円

問い合わせ先	市民部 防災安全課長 原	電話	724-3075
--------	--------------	----	----------

件名	中心市街地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
29,028		0	0	0	0	29,028

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 357・439 ページ

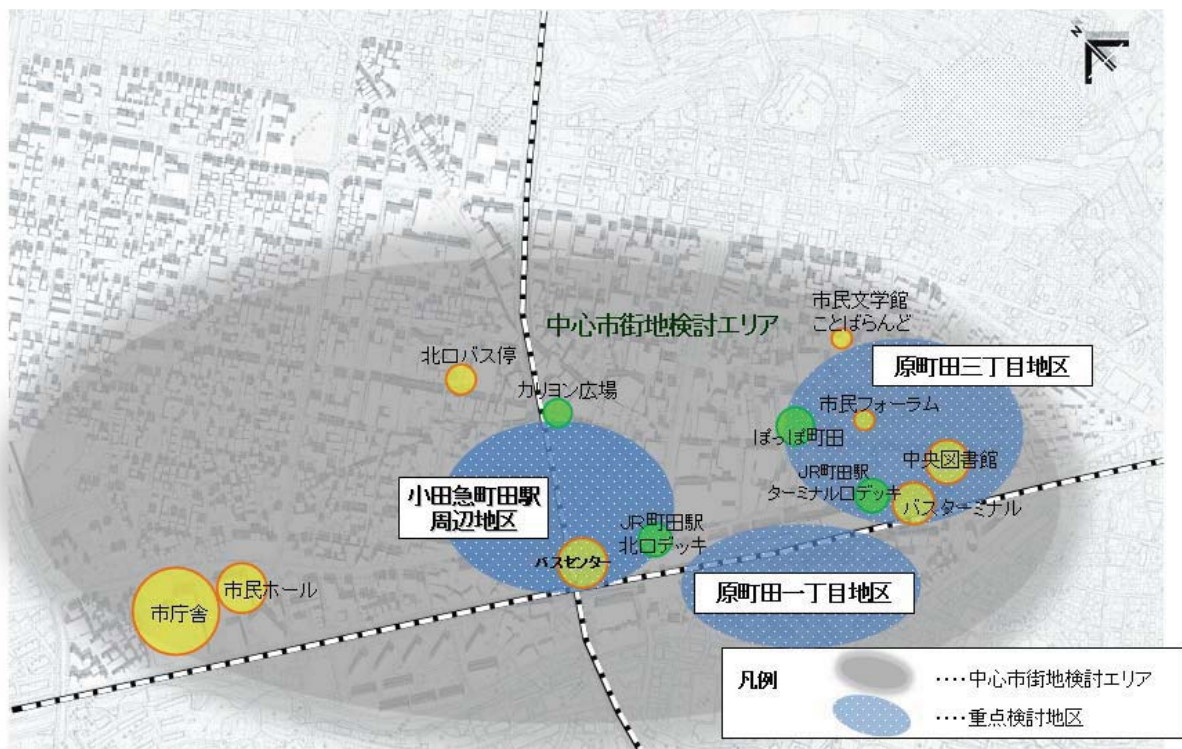
「まちだ未来づくりプラン」の中の「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」の実現に向けて、「交通結節点としてのターミナル機能の強化」、「新たな賑わいの創出」及び「誰もが快適に歩くことが出来るまちづくり」について検討を進めます。

【事業の内容】

- 中心市街地全体の整備構想を策定します。
- 重点検討地区の土地利用のあり方、それを実現するための事業手法及びスケジュールの検討を行います。
- 原町田一丁目地区の市営駐車場及び自由通路の機能更新と併せて、新たな賑わいづくりの創出を図るため周辺の整備検討を行います。

【主な事業費】

- ・中心市街地整備構想調査検討委託 9,300 千円
- ・町田駅周辺調査検討業務委託 7,000 千円
- ・原町田一丁目地区まちづくり事業推進委託料 12,000 千円



問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荻原	電話	724-4266
	経済観光部 産業観光課中心市街地活性化推進担当課長 池ノ内		724-3296

件名		創業支援・企業誘致推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
		56,590	0	0	0	1,620

【事業の背景・目的】

市内産業の将来に向けた持続的な発展を目指し、町田市産業振興基本条例に基づき、事業者の起業・創業の支援、企業誘致及び企業支援を行い、市内経済の活性化を図ります。

そのため、意欲的な成長を目指す事業者に多面的な事業活動に関わる支援を行うことで、全国で活躍できる独創的・個性的な企業の創出を図ることを目的とし、2013年1月に町田市が、町田商工会議所、(株)八千代銀行と共同で(株)町田新産業創造センターを設立しました。また、(株)町田新産業創造センターの事業拠点として2013年4月に町田新産業創造センターを開所します。

Ⅱ 部・局別予算概要 353 ページ



【町田新産業創造センターの施設概要】

- ・場所 町田市中町 1-4-2(旧市役所中町第三庁舎)
 - ・設備
 - 1階 カフェ、イベントスペース等
 - 2階 インキュベーションフロア
(インキュベーションルーム(9~15㎡)13部屋、個別ブース18席、フリーアドレスデスク22席)
 - 3階 賃貸オフィス用フロア
(約40㎡~50㎡ 6部屋、約90㎡ 1部屋)
- ※2階に入居する企業の事業支援ができる企業の入居を優先します。



町田新産業創造センターイメージ

※ インキュベーションとは、これから起業する個人や設立して間もない企業等に対し、場所や経営、資金、人材などに関する経営支援を提供して育成することをいいます。

【事業の内容】

1 創業支援事業

① 販路拡大支援事業補助

(株)町田新産業創造センターが、地域の中小企業者を対象としたセミナーを開催する際に係る経費や、地域中小企業者の経営等に関する各種相談対応に係る経費を補助することで、中小企業者同士の事業マッチングの促進を図ります。

② 産学官連携事業補助

(株)町田新産業創造センターが行う、地域中小企業者と研究機関との連携事業の創出に係る経費を補助することで、町田市及び近隣の大学等研究機関と地域中小企業者の連携事業の創出を図ります。

2 企業誘致推進事業

企業誘致推進事業を行うことで市内経済の活性化及び市民雇用の創出を図ります。

① 企業等立地促進地区への企業誘致

施設整備のための土地や家屋の購入・賃貸借に係る費用や町田市民の雇用等を対象とした奨励金を交付することで、企業等立地促進地区への企業等の進出、企業等立地促進地区内での事業拡大を促進します。

② 町田新産業創造センター3階入居事業者への奨励金

2階のインキュベーションフロアに入居する事業者に対して、起業や販路拡大のための支援ができる企業に奨励金を支払うことで、当該センター3階のオフィスへの企業の誘致を促進します。



【主な事業費】

- 販路拡大支援事業補助金 10,000 千円
- 企業誘致推進事業委託費 4,000 千円
- 町田新産業創造センター建物借上料 16,200 千円
(2012年度～2017年度債務負担行為事業 総事業費 86,550 千円)
- 企業等立地促進地区進出奨励金 18,400 千円
(2013年度～2017年度債務負担行為事業
総事業費 企業等立地奨励金指定決定に基づき交付する額)
- 町田新産業創造センター入居奨励金 1,600 千円
(2013年度～2017年度債務負担行為事業
総事業費 入居奨励金交付決定者に対し交付する新規雇用奨励金の額)

問い合わせ先

経済観光部 産業観光課長 新田

電話

724-2944

件名		食農創業推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,400			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 353 ページ		
<p>市内産業の将来に向けた持続的な発展を目指し、町田市産業振興基本条例に基づき、事業者の起業・創業の支援を行います。商工業者の技術、知識と市内の豊富な地域資源を活かし、食と農の連携による新産業の創出を促進し、市内産業の活性化を図るとともに、消費者の豊かな食生活の実現を推進します。</p>						
【事業の内容】						
<p>食と農との連携を図るための農業生産法人を市内で設立しようとする事業者を補助することで、市内における産業の分野横断的な連携を促進し、もって市内産業の活性化を図ります。</p>						
○ 農業生産法人の立ち上げに係る費用の補助						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象経費 ①農業生産法人の設立のための定款作成に係る費用 <li style="padding-left: 20px;">②農業委員会、法務局への提出書類取得費用 <li style="padding-left: 20px;">③前2号に係る司法書士手数料 ・ 補助金の額 補助対象経費に係る費用の3分の2以内の額で、20万円を限度とします。 						
○ 農業生産法人の新規の事業計画等作成のための調査委託費						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象経費 農業生産法人の設立に当たり、設立準備から設立後の運営まで、安心して事業を運営していくことができる事業計画を作成するための費用を補助します。 ・ 補助金の額 補助対象経費に係る費用の3分の2以内の額で、100万円を限度とします。 						
<p style="text-align: center;">農業生産法人設立のメリット</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 税制の優遇を受けることができます。 2 制度融資の限度額が増えます。 3 社会保険制度、労働保険制度が充実します。 4 法人としての特性を活かすことができます。 (法人として個人の土地を借りること等が可能となります。) 				<p>農業生産法人とは？</p> <p>農地法で規定される、農地や採草放牧地を利用して農業経営を行う法人です。農業生産法人になるためには、「農事組合法人、合同会社、合名会社、合資会社又は株式会社であること」と「農地法に定める一定要件(事業要件、構成員要件等)を満たすこと」が必要です。</p>		
【事業費】						
食農創業推進事業補助金 2,400 千円						
問い合わせ先		経済観光部 産業観光課長 新田			電話	724-2944



件名	小野路公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
111,000		0	18,000	74,000	0	19,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 450 ページ

町田市新5ヵ年計画の重点事業「競技・観戦環境の整備」として、プロスポーツなどの大きなスポーツ大会に対応する競技環境の整備を行うとともに、多くの集客が可能な観戦設備の整備を実施しています。小野路球場は、2013年7月に第95回全国高等学校野球選手権大会西東京大会及び、9月にスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）の軟式野球の開催会場となります。



【事業の内容】

2012年度に着工した、小野路球場の電光得点表示板等整備工事を6月までに完成させます。

また、管理棟の外壁塗装工事や球場放送設備の調整を6月までに実施し、施設の耐久性向上と公園のイメージアップを図ります。

	2012年度				2013年度						
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電光得点表示板等整備工事		●-----● 電光表示板製作期間			●----->						
管理棟外壁塗装工事 放送設備改修工事					●-----● 解体・電気設備・設置期間						
高校野球西東京大会								●-->			
スポーツ祭東京2013										●-->	


【主な事業費】

小野路球場電光得点表示板等整備工事	99,000 千円
(2012～2013年度債務負担行為事業 総額 165,000 千円)	
小野路球場放送設備改修工事	1,000 千円
小野路公園管理棟外壁塗装工事	10,000 千円

【特定財源】

市町村総合交付金	18,000 千円
都市計画事業債	74,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月	電話	724-4397
--------	------------------	----	----------

件名		野津田公園整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
108,001			0	9,000	55,000	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 448 ページ		
<p>野津田公園は、1980年10月に総合公園として、40.1ヘクタールを都市計画決定し、1990年10月公園西側から順次開園をしてきました。1987年に策定した基本計画は、約30年近く経過し、少子高齢化やライフスタイルの変化、健康志向、趣味の多様化など公園を取り巻く環境が大きく変化しています。今のニーズを捉え、公園やスポーツ施設、交通アクセス、公園機能や防災面等を全体的に見直し、多世代が魅力を感じる公園を造ることが求められています。</p> <p>公園内の町田市立陸上競技場は、2013年4月に武相マラソン、9月にスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)のサッカー競技会場となります。</p>						
【事業の内容】						
<p>○2012年度に引き続き、学識委員及び市民委員で構成される懇談会から意見を聞きながら、第二次野津田公園整備基本計画を策定します。</p> <p>○日本陸上競技連盟の3種公認時の取得条件である、ピッチ改修工事を実施します。</p>						
						
【主な事業費】						
第二次野津田公園整備基本計画策定委託料		21,000 千円				
(2012～2013年度債務負担行為事業 総額)		30,000 千円				
町田市立陸上競技場ピッチ改修工事		74,000 千円				
【特定財源】						
市町村総合交付金		9,000 千円				
都市計画事業債		55,000 千円				
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月			電話	724-4397	

件名		みどりのまちづくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
20,060			0	0	0	0	20,060
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 449 ページ			
<p>みどりは、まちに潤いを与え、市民の生活環境を豊かにする存在です。そのみどりを多くの人に楽しんでもらい、さらに価値のあるものにしていく必要があります。</p> <p>薬師池公園は町田市を代表する公園であり、その周辺には雑木林などの豊かな自然的資源や自由民権運動発祥の地などの歴史的資源も存在します。また、周辺には町田リス園、町田ぼたん園などの観光施設も存在します。</p> <p>これらのさらなる活用や連携を進めることによって、薬師池公園地域を町田市の豊かなみどりのシンボルとして整備していきます。</p>							
【事業の内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・サイン等実施設計及び整備工事 <p style="margin-left: 20px;">地域内において案内が必要となる箇所について、サインや案内板の詳細な設置位置や構造について設計を行います。2013年度においては、そのうちの交差点等主要箇所サイン10基の設置を行います。</p> ・薬師池水質改善設計 <p style="margin-left: 20px;">池の水質悪化の原因究明や改善策について、調査・設計を行います。</p> ・周遊要件調査 <p style="margin-left: 20px;">地域内において、訪問者が円滑に移動できるような手段について要件調査を行います。</p> ・景観作物栽培 <p style="margin-left: 20px;">新たな緑のシンボルとするため、菜の花、赤ソバなど春、秋用の景観作物の植え付けを行います。</p> 							
							
案内板		サイン		菜の花		赤ソバ	
【事業費】							
<ul style="list-style-type: none"> ・薬師池公園周辺地域サイン等整備実施設計委託料 4,500 千円 ・薬師池公園周辺地域サイン等設置工事 5,200 千円 ・薬師池公園池水質改善設計委託料 6,000 千円 ・薬師池公園周辺周遊要件調査委託料 1,860 千円 ・薬師池西公園景観草花栽培管理委託料 2,500 千円 							
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月			電話	724-4397		

件名		町田まるごとゆりーと祭り開催事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
15,000			0	12,000	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 354 ページ		
<p>スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会)は全国から選手、競技関係者、観戦客などが集まる大きなイベントであり、町田の魅力を全国に発信する絶好の機会です。スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会)の開催に向け、市内の気運醸成を図り、歓迎ムードを盛り上げることを目的とします。</p>						
【事業の内容】						
町田まるごとゆりーと祭りとして、以下の内容を柱としたキャンペーンイベントを開催します。						
①主要駅周辺の装飾						
市をあげて歓迎している雰囲気伝わるよう、スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会)の選手、競技関係者、観戦客などの利用が想定される町田駅、成瀬駅、鶴川駅周辺の装飾を行います。 (例：商店街の街路灯フラッグなど)						
②地域のイベントとの連携						
スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会)の開催直前時期(8 月～9 月)に行われる地域のイベントの会場において、スポーツ祭東京 2013 に関連したパフォーマンスを行います。 (例：炬火リレー、ゆりーとダンス、国体競技の体験教室、ゆりーと遊具の設置など)						
③前夜祭イベントの開催						
キャンペーンイベントの総仕上げとして、スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会)開会式の前日(9 月 27 日)に、主要駅前(町田駅、成瀬駅、鶴川駅)で前夜祭イベントを実施します。 (例：炬火リレー、ミニライブ、ダンスパフォーマンスなど)						
【事業費】						
スポーツ祭東京 2013 開催記念事業委託料 15,000 千円						
【特定財源】						
スポーツ祭東京 2013 気運醸成・開催記念事業費補助金 12,000 千円						
問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 新田			電話	724-2944	



件名		スポーツ祭東京2013開催事業				
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
248,009			0	112,431	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 200 ページ		
<p>2013 年秋に、スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会)が町田市で初めて開催されます。町田市では、4 競技(サッカー、バレーボール、軟式野球、バドミントン)と 1 行事(レクリエーションダンス)を実施します。大会の開催は、生涯スポーツ社会の実現や活力ある地域づくりを進めるうえで意義深いものであり、「スポーツのまち・町田」を全国に発信する絶好の機会です。また、大会を成功させるための様々な取組みを市民と一体となつて行うことで、「市民との協働によるまちづくり」を推進します。</p>						
【事業の内容】						
<p>○事業主体である「スポーツ祭東京 2013 町田市実行委員会」に負担金を交付します。実行委員会を主体として、スポーツ祭東京 2013 の各競技会を開催します(下表の数字は開催期間中延べ)。</p>						
競技名	サッカー	バレーボール	軟式野球	バドミントン	レクリエーションダンス	
日程	9/29・30	9/29～10/2	10/4・5	10/4～7	9/8	
会場	陸上競技場	総合体育館	小野路球場	総合体育館	総合体育館	
試合数	5	42	3	111	—	
選手・監督人数	160	520	64	444	1,000	
競技役員人数	58	411	59	1,659	90	
ボランティア人数	約 120	約 400	約 60	約 660	10	
応援職員人数	約 250	約 580	約 70	約 600	—	
<p>○大会準備及び大会開催期間中において、最前線で活動するボランティア(まちだサポーターズ)の募集、育成、配置を行います。</p> <p>○国体開催事業の一つである「文化プログラム」の実施により、町田市の多様な魅力を発信します。</p> <p>○都の補助対象事業である、開催競技の普及啓発事業及び開催気運醸成のための事業を実施することにより、市民に対し大会内容の周知啓発と観戦者を増やす取組みを行い、大会の成功に繋がります。</p> <p>○震災等緊急雇用対応事業として、広報啓発事業の一部を業務委託により実施します。</p>						
【主な事業費】						
○東京国体準備事務負担金 226,824 千円						
○東京国体開催準備委託料 19,247 千円						
【特定財源】						
○第 68 回国民体育大会運営費補助金 81,919 千円						
○第 68 回国民体育大会競技普及啓発事業費補助金 2,000 千円						
○第 68 回国民体育大会炬火イベント事業費補助金 300 千円						
○スポーツ祭東京 2013 気運醸成・開催記念事業費補助金 13,700 千円						
○震災等緊急雇用対応事業費補助金 14,512 千円						
問い合わせ先	文化スポーツ振興部 国体推進課長 能條			電話	724-5830	

件名	小野路宿里山交流館整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
190,296		51,770	18,000	81,400	24	39,102

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 355 ページ

小野路地域の環境と街並みをいかした一体的な街づくりを進めていくことを目的に策定した小野路宿通り周辺地区都市再生整備計画に基づき、観光交流の拠点として小野路宿里山交流館を建設しています。施設の開所時期は、スポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会)開催にあわせて 9 月下旬を予定しています。

【事業の内容】

主な施設の機能

施設		面積(m ²)	利用方法
主屋	交流スペース	46	・地域住民や来訪者が飲食しながら休憩・交流できる場
	情報コーナー	4	・ハイキングコースやバス情報などの情報を提供
	物産販売コーナー	25	・地元産品を販売
	和室	8 畳 2 室	・8 畳の和室 2 室を設置(うち 1 室は茶室として利用可能)
土蔵		41	・民具等を保管、展示 ・ギャラリーとして地元の芸術家の作品などを展示
製茶場		25	・体験教室などを実施

【事業スケジュール】

	2013年度						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設工事	工事				→		
開所準備	←	開所準備	(運営内容・備品準備)			→	
開所						オープン ★	

【主な事業費】

- 小野路宿里山交流館整備工事費・工事監理費 140,112 千円
(2012 年度～2013 年度債務負担行為事業 総事業費 227,212 千円)
- 総合管理委託料 9,928 千円
- その他管理運営費用 34,830 千円
(備品購入費 11,782 千円、消耗品費 3,000 千円など)



北立面図(宿通り側)

【主な特定財源】

- 社会資本整備総合交付金 51,770 千円
- 観光交流施設整備事業債 81,400 千円



東立面図

問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 新田	電話	724-2944
--------	-----------------	----	----------

件名	シティプロモーション事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
20,180			0	0	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 99 ページ

「市民が愛着を持って住み続けられるまち」、「魅力にあふれ、何度でも訪れたいまち」をつくるために、市の魅力を明確化し、市内外に効果的かつ戦略的に情報を発信することが求められています。

2012年度に策定した「シティプロモーション基本方針」をもとに、具体的に活動を進めるための「(仮称)まちだシティプロモーション推進計画」を策定するとともに、活動に着手します。

【事業の内容】

「シティプロモーション基本方針」に基づいた、「(仮称)まちだシティプロモーション推進計画」を策定し、以下の事業内容等を検討していきます。なお、「(仮称)まちだシティプロモーション推進計画」は市民や各種団体、有識者とともに委員会を発足し策定します。

① 市民参加型のワールドカフェを開催

市民とともに活動を進めるために、シティプロモーションの勉強会を実施し、まちの魅力について情報交換する場を設けます。また、ここで得られた意見や提案を活動に反映します。

② キャッチコピー・シンボルマーク等の作成

基本方針・推進計画に基づき、市のシティプロモーション活動の象徴となるキャッチコピーやシンボルマークを作成します。

③ シティプロモーション専用ホームページの立ち上げ

まちの魅力や身近な情報など、タイムリーに発信していくホームページを立ち上げ、市の内外へ情報発信します。

④ 市の魅力をまとめた資料を作成、メディアへのアプローチを実施

「(仮称)シティプロモーション推進委員会」や市民参加型のワールドカフェで話し合われた内容をもとに、注力するテーマを決めて資料を作成します。なお、この資料は、市民と市の魅力を再発見し活用するとともに、各種メディアへのアプローチ資料として利用します。

【主な事業費】

- ・ シティプロモーション戦略策定等業務委託料 18,276 千円



町田市役所本庁舎1階 イベントスタジオ



ミニミュージアム(イベントスタジオ内)

町田の魅力発信中!

問い合わせ先	政策経営部 広報課長 若林	電話	724-2101
--------	---------------	----	----------

件名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
108,130			34,919	0	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 378 ページ

町田市では、1982 年、現在の町田リサイクル文化センター（焼却施設・450t/日）が稼働し、ごみ処理を進めて来ましたが、30 年以上が経過し老朽化が進み、新たな「ごみの資源化施設」の整備が喫緊の課題です。

そこで、新たな施設と循環型社会実現へ向けた取り組みを市民協働で進めるため、2006 年 10 月に「ごみゼロ市民会議」、2009 年 6 月から「町田市廃棄物減量等推進審議会」で審議を進め、一般廃棄物処理の基本となる「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を 2011 年 4 月に策定しました。法律上の計画名称は「一般廃棄物処理基本計画」ですが、「処理」から「資源化」に計画名を変え、資源化に取り組む姿勢を示しています。この計画では、2020 年度までにごみとして処理する量を 40%削減することを全体目標とし、生ごみ処理機で 3 千トン进行堆肥化、1 万 9 千トン进行バイオガス化するとともに、プラスチックごみについては容器包装リサイクル法に基づき資源化を行い、ごみの減量と資源化率の向上とともに CO²の半減を目指しています。

【事業の内容】

2013 年度は施設整備に必要な調査及び事業計画を行い、環境影響評価調査の準備を行うとともに、施設周辺の住民が中心となる「（仮称）ごみの資源化施設連絡協議会」を設置し、市民との協働による環境負荷の低い、安全・安心な施設建設を進めます。

【整備する施設の概要】

●熱回収施設等

施設整備費 約 200 億円

所要面積 約 28,000 m²

★施設概要

焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設を 1 箇所一体整備します。

2020 年度までにごみとして処理する量を 40%削減することを全体目標とするため、焼却施設は、現施設（476t/日）の約 6 割の施設規模とします。

・焼却施設 258t/日（2 炉 × 129t/日）ストーカ炉 高効率発電（17%以上）

排ガスの処理には最新の技術を導入します。

・バイオガス化施設 50t/日 機械選別、高温・乾式 生ごみを資源化する施設。

発酵残渣は焼却施設の補助燃料とします。

・不燃・粗大ごみ処理施設 47t/日

●資源ごみ処理施設

施設整備費 約 58 億円(3箇所合計)

所要面積 約 11,700 m²(1箇所当たり・「リレーセンターみなみ」は除く)

★分散配置の考え方

①収集車の台数や移動距離を削減し環境への負荷軽減が図れること、②施設の代替性と補完性を備えられること、③地域住民のごみの資源化に関する意識の向上を促す拠点等とするため、既存施設の「リレーセンターみなみ」を含め、市内3箇所に分散化し整備します。

★施設概要(3箇所合計)

- ①プラスチック圧縮梱包施設 26.4t/日[リレーセンターみなみ(5t/日)を含]
- ②カン選別処理施設 6.4t/日
- ③ビン選別処理施設 18.8t/日
- ④ペットボトル圧縮梱包施設 5.8t/日
- ⑤トレイ・紙パック貯留場所
- ⑥有害ごみ(乾電池・蛍光灯等)貯留場所
- ⑦製品プラスチック貯留場所
- ⑧使用済小型電子機器等貯留場所

※既存施設である「リレーセンターみなみ」は、プラスチック圧縮梱包施設(5t/日)を追加します。

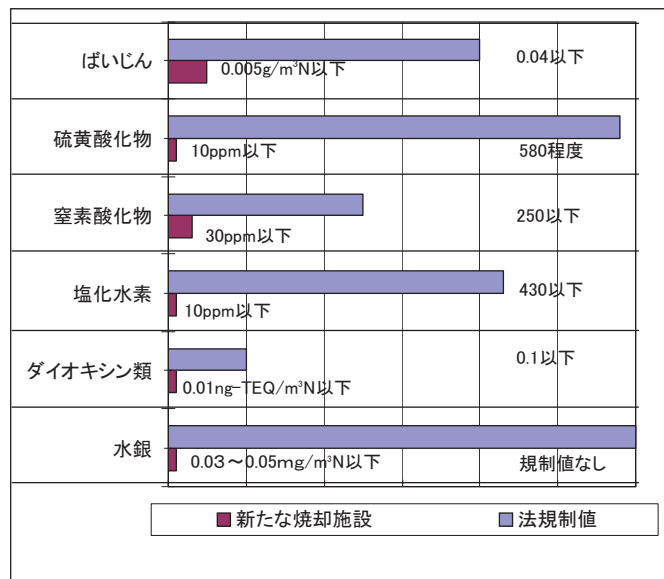
●環境負荷の低減

焼却施設では、厳しい自主規制値を設定します。

- (1)焼却施設の自主規制値の設定
- (2)運転管理目標値の設定
- (3)安心できるしくみづくり

資源ごみ処理施設は、設備から貯留場所まで屋内に設置することで、周辺環境に配慮した構造とし、測定結果は公開します。

新たな焼却施設の自主規制値と法規制値



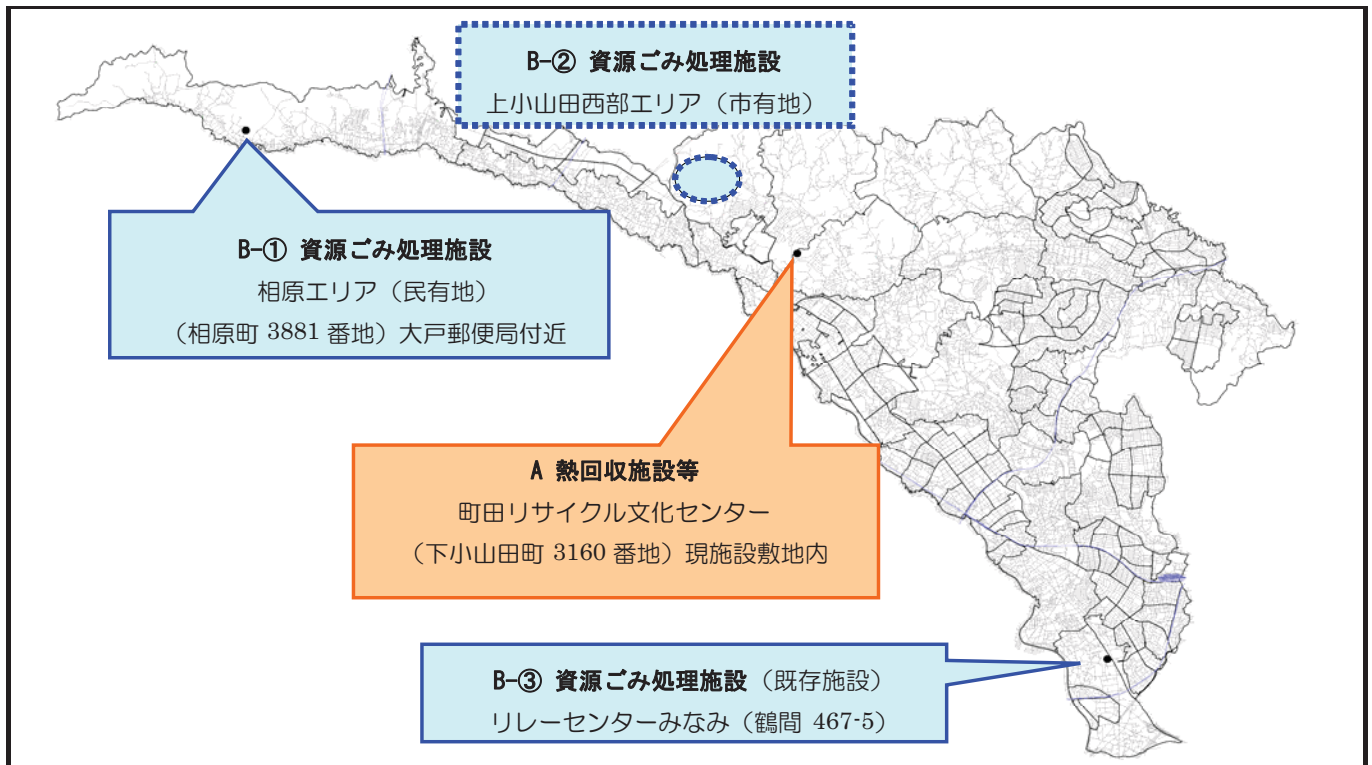
【主な事業費】

- 資源循環型施設整備事業計画策定支援委託料 74,550 千円
 <事業計画及び(仮称)ごみの資源化施設連絡協議会運営支援等>
- 地質調査委託料(ボーリング・各種試験等) 12,453 千円
 <熱回収施設等 1ヶ所、資源ごみ処理施設 2ヶ所>
- 資源循環型施設建設協議会委員謝礼 1,040 千円
 <(仮称)ごみの資源化施設連絡協議会>

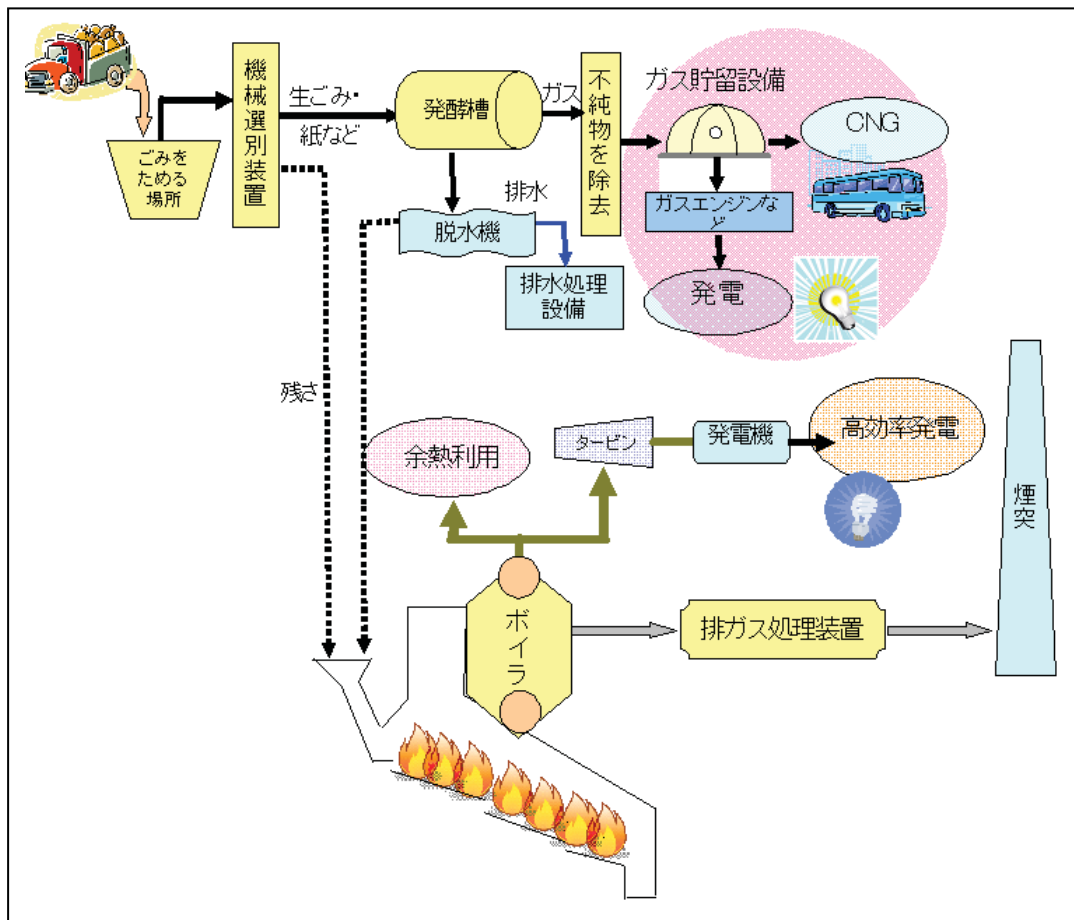
【特定財源】

循環型社会形成推進交付金 34,919 千円

(次頁あり)



焼却施設とバイオガス化施設のフロー図



問い合わせ先	環境資源部 循環型施設整備課長 水島	電話	724-4384
--------	--------------------	----	----------

件名	都市計画道路線形検討事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
32,000		0	0	0	0	32,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 437 ページ

「誰もが移動しやすいまちづくり」の実現を目指して現在検討中の道路網整備計画における「広域的な道路交通の円滑化という観点から、新規都市計画道路網がこの地域に必要」との考えを踏まえ、これら路線の都市計画決定に向けた取り組みを進めていきます。

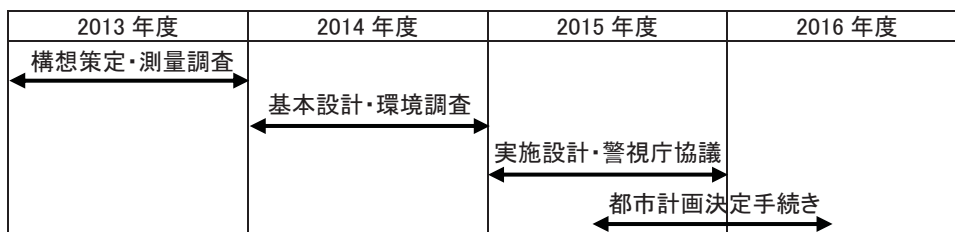
- 南北方向の道路交通の円滑化に必要な幹線道路で、多摩都市モノレール構想路線のうち都市計画道路が計画決定されていない区間です。⇒ 路線①
- 路線①の都市計画決定に伴い接続する都市計画道路の変更が必要となります。⇒ 路線②
- 多摩境通りの交通の円滑化を図る必要があります。⇒ 路線③



【事業の内容】

関係機関との都市計画決定に向けた協議を進めていくため、路線①などについて、測量調査を実施して、道路の幅員、位置を示した構想を策定します。

都市計画決定スケジュール(案)



【事業費】

新規都市計画道路に関する構想策定委託料	17,000 千円
新規都市計画道路調査測量委託料	15,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 都市政策課長 馬場	電話	724-4248
--------	------------------	----	----------

件名	都市計画道路整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,607,859		300,850	319,670	117,000	624,007	246,332

（都市計画道路の整備）
円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

（駅前広場の整備）
地域の交通拠点としての機能向上を図るため、南町田駅・相原駅の駅前広場の整備を進めます。

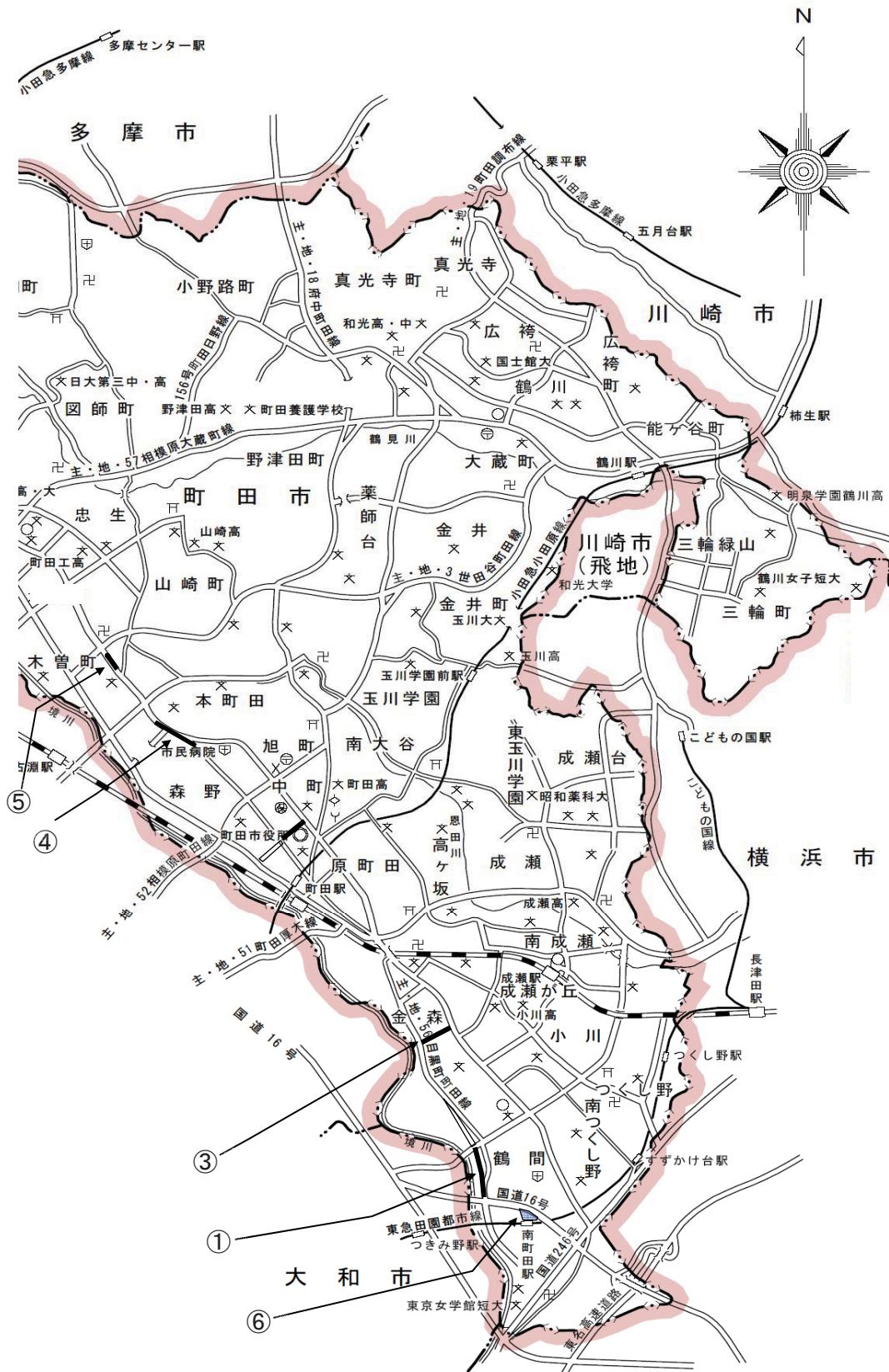
町田市管内図

相模原市

重点事業名	箇所番号	個別事業名	事業費(千円)	備考
都市計画道路の整備	①	都計道3・4・37(鶴間) 【藤沢街道】	138,068	国道16号、南町田駅へのアクセス道路 2016年度供用開始予定
	②	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北線】	89,739	相模原市へのアクセス道路 2016年度供用開始予定
	③	都計道3・4・34(金森) 【環状1号本町田金森線】	382,521	町田街道から藤沢街道へのアクセス道路 2019年度供用開始予定
都道整備の協力	④	交差点改良事業 【町田街道】	220,525	滝ノ沢西交差点付近 都との協働事業 (用地買収)
	⑤	都計道3・4・38(木曾東) 【町田街道】	441,632	都との協働事業 2019年度供用開始予定
駅前広場の整備	⑥	南町田駅北口広場	39,000	2016年度供用開始予定
	⑦	相原駅西口広場	296,374	2015年度供用開始予定

【主な特定財源】

・社会資本整備総合交付金(国)	300,850千円
・東京都市町村土木補助	218,670千円
・みちづくり・まちづくりパートナー事業受託収入	403,482千円
・すいすいプラン推進事業受託収入	220,525千円



問い合わせ先

建設部 道路整備課長 藤谷

電話

724-1122

件名	鉄道延伸検討事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,030		0	0	0	0	10,030

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 441 ページ

市内の鉄道駅は、市の外縁部に位置しています。市内における移動のしやすさを向上させるため、南北、東西を貫く新たな交通システムの構築が求められています。市内の公共交通網を充実させるため、小田急多摩線延伸の調査検討、多摩都市モノレール延伸に向けた関係機関への働きかけを行っています。

【事業の内容】

○小田急多摩線の延伸

2006 年度から、町田市、相模原市による「小田急多摩線延伸検討会」を設置し、鉄道事業者等の協力を得ながら延伸の実現に向けた検討を行ってきました。2012 年度からは、学識経験者や関係自治体などで構成する「小田急多摩線延伸計画に関する研究会」を設置し、沿線の土地利用構想や人口フレーム推計、広域交通網などの研究を進めながら、延伸計画に関する検討を行い、2013 年度に研究成果を取りまとめます。

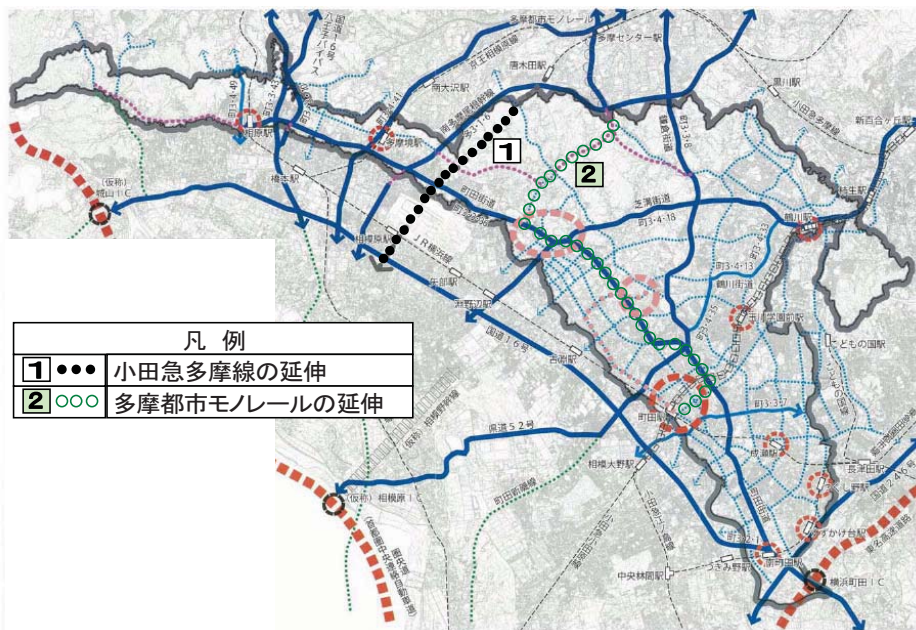
○多摩都市モノレールの延伸

27 市町村で構成する「多摩地域都市モノレール等建設促進協議会」に参加しており、引き続き、協議会から、国、東京都など関係機関に対して町田方面への延伸を働きかけていきます。

また、2012 年度から多摩都市モノレール延伸の機運を高めるため、市内の住民団体や経済関係団体とともに、「多摩都市モノレール町田方面延伸協議会」を発足し、町田方面への延伸の働きかけを進めていきます。合わせて、多摩都市モノレール導入に向けた調査・検討を行います。

【主な事業費】

小田急多摩線共同調査負担金	10,000 千円
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会負担金	30 千円



問い合わせ先	都市づくり部 交通事業推進課長 野田	電話	724-4260
--------	--------------------	----	----------

件名	路線バス利用促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
		0	0	0	0	71,354

【事業の背景・目的】

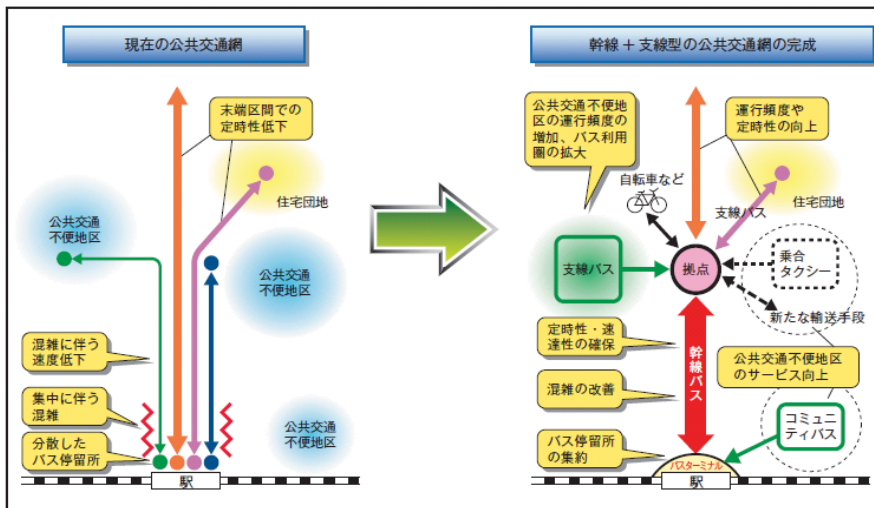
Ⅱ 部・局別予算概要 441 ページ

市内の鉄道駅は市の外縁部に位置しているため、市内の主要な公共交通は路線バスが担っています。路線バスの定時性や速達性の確保、路線バスの利用が不便な「交通不便地区」の解消などが課題となっています。そこで、市内における移動のしやすさを向上させるため、「南北、東西を貫く新たな交通システムの構築」と「幹線バスと支線バスによる公共交通網」の形成が求められています。

【事業の内容】

○幹線交通ネットワーク計画の策定

バス路線網の再編及び路線バス乗り継ぎ拠点整備の着手に向けて、主要交差点の交通量を調査し、幹線交通ネットワーク計画を策定します。また、都内初となる連節バスを導入した町田駅前通りについては、3車線化によるバス優先レーン導入に向けた調査を行います。



○路線バス利用環境の整備

はじめて市内でバスを利用する人でも簡単にバスを使って市内を移動できるようにするため、町田バスセンターにバス乗り場や系統を案内する「デジタル案内表示器」を導入します。整備を行う事業者に対して、整備費用の一部を補助する制度を新設します。

また、快適なバス待ち環境を確保するため、バス停の上屋・ベンチ設置費用の一部を補助する制度を新設します。

【主な事業費】

幹線交通ネットワーク検討調査	18,806 千円
主要交差点交通量調査	10,198 千円
バス優先レーン導入検討調査	8,222 千円
バス乗り場案内整備事業補助金	17,760 千円
バス停上屋等設置補助金	3,256 千円

【バス停での情報案内イメージ】



【総合案内システム表示板イメージ】



問い合わせ先	都市づくり部 交通事業推進課長 野田	電話	724-4260
--------	--------------------	----	----------

件名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,064		0	0	0	0	10,064

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 439 ページ

鶴川駅周辺の市街地整備は、1980年代より行われてきた駅北側の土地区画整理事業により駅前広場や道路などが整備されました。その後、約30年が経過し周辺の市街化が進み、これに伴う人口増加などにより、駅前広場の交通処理能力が不足しています。一方で、駅南側は下水道の未整備や道路が狭いなど市街地整備が整っていません。

そのため、駅南側の地権者や町内会の方々と協働による街づくりを進め、地域特性に応じた市街地整備と居住環境の機能増進を検討します。また、駅北側と南側の駅前広場の整備検討を行い、地域の交通拠点としての機能向上を図ります。

【事業の内容】

◆鶴川駅南側街づくり検討会

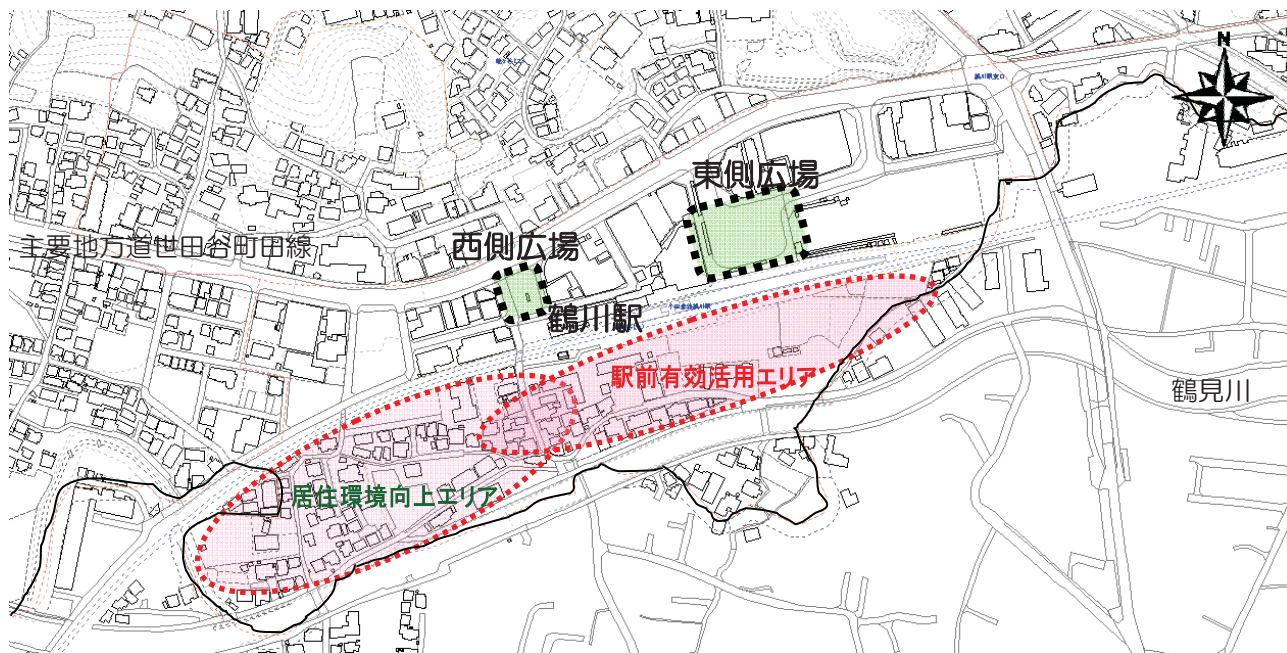
関係者に情報提供及び意見収集を行い、街づくりビジョンを策定します。

◆鶴川駅前広場検討

関係者との協議を重ね、駅前広場等の将来像、方向性を検討し、基本方針を策定します。

【主な事業費】

鶴川駅南側街づくり検討委託料	6,000 千円
鶴川駅前広場検討委託料	4,000 千円



駅前有効活用エリア…駅前広場を中心に交通利便性の向上や土地の有効活用を図ります。
 居住環境向上エリア…道路拡幅などにより居住環境の機能増進を図ります。

問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荻原	電話	724-4266
--------	--------------------	----	----------

件名	団地再生推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,880		0	0	0	0	5,880

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 452 ページ

市内にはUR都市機構と東京都住宅供給公社が建設し供給した 22,000 戸以上の団地があり、その供給戸数は東京都市部で最も多く、町田市人口の約 10%、およそ 40,000 人が居住しています。



これらの団地の多くが 1960～70 年代に建設され老朽化も進み、また現在の居住ニーズに合わず、住居としての魅力が低下しており、周辺地域を含めたまちづくりの課題となっています。

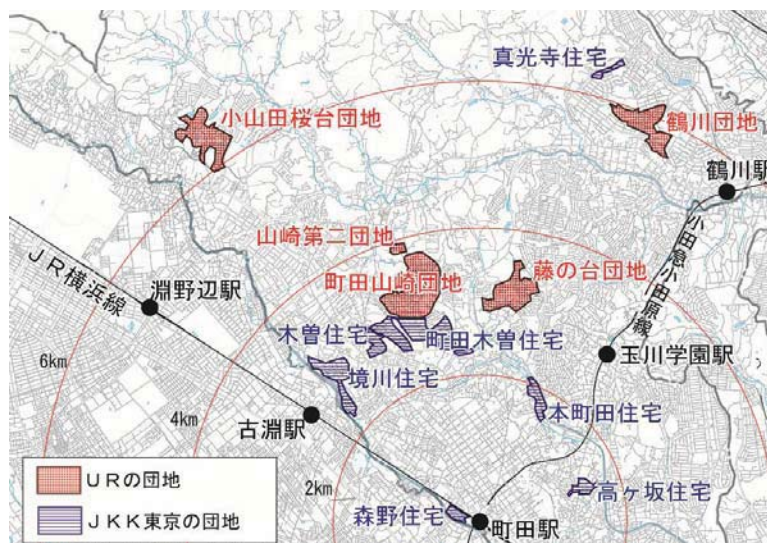
そこで、「まちだ未来づくりプラン」における「未来づくりプロジェクト」の一つとして、団地の魅力の向上に取り組み、団地を中心とするまちの活性化を目指すため「団地再生に向けたプロジェクト」を開始し、大規模団地の再生のための検討を行い、団地再生基本方針を策定しています。

基本方針で示された課題に対応し、住宅都市としての町田市の魅力向上を図るため、市と事業者のみでなく居住者及び地域周辺住民と、団地を含めた周辺地域の特性や魅力を確認し、当該団地の特性に応じた「団地再生」について検討し、合意形成を目指します。

【事業の内容】

○（仮称）地域協議会の設立・運営

個別の団地（1団地）において、居住者と事業者が団地再生のあり方等について検討するとともに、周辺地域の住民を含め自分たちの暮らすまちの活性化について検討する「（仮称）地域協議会」を設立し、その運営支援（居住者及び地域周辺住民へのアンケート調査・ワークショップ等を予定）を行いながら、将来の団地とその周辺地域についての再生像の合意形成を図ります。



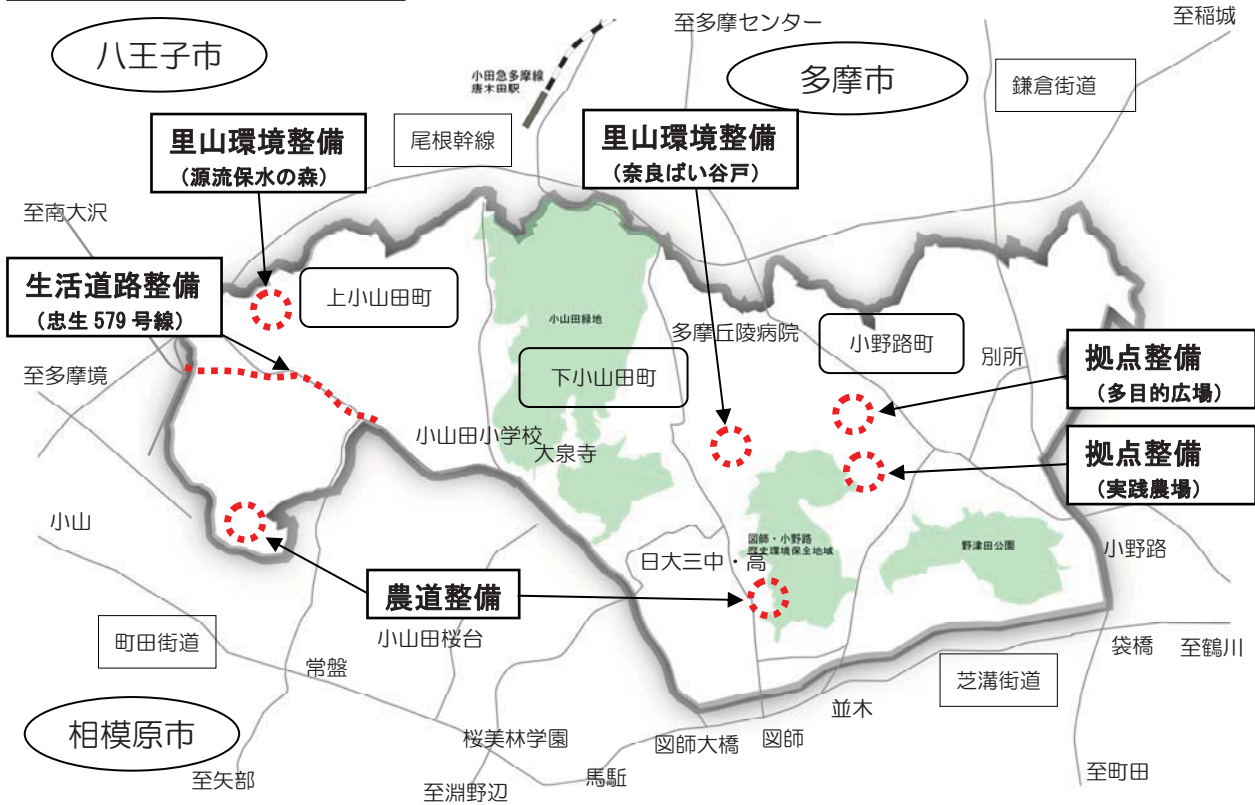
【事業費】

○団地再生事業計画策定委託料 5,880 千円


問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 端	電話	724-4269
--------	-------------------	----	----------


件名		北部丘陵整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
104,390			0	35,000	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		352 ページ
<p>町田市北部丘陵活性化計画に基づき、「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山」の実現に向けて、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。</p> <p>2013 年度は、地域の営農環境や生活環境の向上、農とふれあうために訪れる市民の利便に供する拠点整備などの事業を実施します。</p> <p>また、樹林地の下草刈や樹木の間伐、水路や散策路の整備などを実施し里山環境の向上に取り組みます。</p>						
【事業の内容および事業費】						
<p>農道整備事業 18,300 千円 地域の営農環境向上を図るため、農道(2 路線)を整備します。 ○工事費 14,100 千円 ■事業箇所：① 図師町五反田谷戸 ② 上小山田町平 ■事業規模：① L120m(W2.7m) ② L200m(W2.5m)</p>						
<p>拠点整備事業 13,100 千円 農とふれあうために訪れる市民の利便に供する多目的広場や農業研修の充実を図る実践農場を整備します。 ○農とふれあう多目的広場整備工事費 6,000 千円 ■事業箇所：小野路町馬場 ■事業規模・・・500 m² ○実践農場整備工事費 5,000 千円 ■事業箇所：小野路町万松寺 ■事業規模・・・1,800 m²</p>						
<p>生活道路整備事業 52,400 千円 生活環境向上を目指して、地域の主たる生活道路(忠生 579 号線)の拡幅改良整備を行います。 ■事業箇所：上小山田町田中谷戸 ■事業規模：計画延長 1,500m 計画幅員 12.0m ■2013 年度：設計委託料(道路予備設計)4,200 千円 測量委託料(路線・用地)19,200 千円 物件補償料 20,000 千円</p>						
<p>里山環境整備事業 10,000 千円 里山景観を形成する雑木林の維持・再生等を行います。 ■事業箇所：① 小野路町奈良ばい谷戸 ② 上小山田町源流保水の森 ■対象面積：① 2.0ha ② 2.4ha</p>						
【主な特定財源】						
■ 市町村総合交付金 35,000 千円						

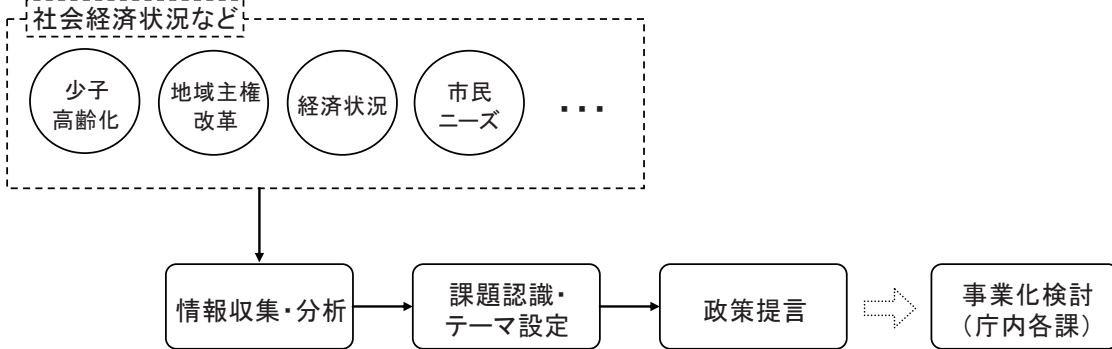
北部丘陵整備事業 位置図




問い合わせ先	経済観光部 北部丘陵整備課長 西村	電話	724-2758
--------	-------------------	----	----------

件名		公園整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
646,423			73,000	61,000	365,000	95,287
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 449 ページ		
<p>「町田市緑の基本計画」に基づき、市民一人当たり 20.3 m²の都市公園の確保を目指し、多くの人々が憩える公園や緑地を確保し、整備を進めています。</p>						
【事業の内容】						
<p>・薬師池西公園、薬師池北緑地、三輪緑地、能ヶ谷緑地の用地について、合わせて約 1.9haの購入を行います。</p>						
	都市計画決定	事業認可	買収 総面積	2013年度 買収面積	用地買収 年度	
薬師池西公園	2009年1月	2009年2月	8.1ha	0.2ha	2008年度～ 2012年度(※)	
薬師池北緑地	2012年1月	2012年2月	6.8ha	0.2ha	2011年度～ 2015年度	
三輪緑地	2008年6月	2010年9月	20.2ha	1.0ha	2010年度～ 2016年度	
能ヶ谷緑地	2010年9月	2010年11月	2.3ha	0.5ha	2011年度～ 2014年度	
<p>※薬師池西公園については、用地買収年度を2016年度まで延伸予定</p>						
<p>・約8割の用地取得が完了している薬師池西公園について、園路整備等を実施し、部分開園を行います。</p> <p>・薬師池公園周辺地域の魅力向上につなげるため、薬師池北緑地の自然環境調査やぼたん園、えびね苑、ダリア園など、それぞれの施設の機能向上に必要な条件調査を行います。</p> <p>・市域全体の街区公園の整備を進めるため、(仮称)子の神橋公園(0.23ha)を整備します。</p>						
【主な事業費】						
用地購入費	525,544 千円					
薬師池西公園園路整備工事	17,000 千円					
薬師池公園周辺施設機能調査委託料	6,600 千円					
(仮称)子の神橋公園整備工事	40,000 千円					
【特定財源】						
都市計画公園整備費(国)	73,000 千円					
都市計画公園整備費(都)	46,000 千円					
市町村総合交付金(都)	15,000 千円					
都市計画事業債	365,000 千円					
緑地保全基金	95,287 千円					
						
薬師池北緑地						
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月			電話	724-4397	

件名		新たな分別排出方法推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
23,065			0	0	0	23,065
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 377 ページ		
<p>2011年4月に策定した「町田市一般廃棄物資源化基本計画」では、2020年度までに「ごみの処理量を2009年度比40%削減」を目標としています。この目標を達成するための5つの基本方針を定め、その中に「家庭から出る生ごみの100%資源化」と「プラスチックごみの減量・資源化」を掲げ、「生ごみ」及び「プラスチックごみ」の「発生抑制や排出抑制」「減量・資源化」をさらに進める必要があります。</p> <p>今後、新たな資源化施設の稼働にあわせ、「プラスチックごみ」が新たな分別品目に加わり、現在の13分別から14分別となります。さらに、大型生ごみ処理機による「生ごみ」の資源化を推進することで、導入区域は、15分別となります。また、過去の「プラスチックごみ資源化実験」と「生ごみ処理機等のアンケート調査」の結果から、現在の燃やせるごみの袋から約227gの「プラスチックごみ」と「生ごみ」が資源化できると想定されます。</p> <p>そこで、参加モデル地域において、一人一日あたりの燃やせるごみ量からどの程度の「プラスチックごみ」と「生ごみ」が新たに資源化できるのかを検証し、新たな分別排出方法の推進に必要な具体策を検討します。</p>						
【事業の内容】						
<p>(1)市内の居住環境の違う「新たな分別排出方法モデル地域」を選定し、「プラスチックごみ」の分別収集（ボランティア袋を無料で配布）に協力していただくとともに、地域内のごみ集積所などに大型生ごみ処理機を設置します。</p> <p>(2)参加モデル地域にアンケート等を行い、次の項目を検証します。</p> <p>①一人一日あたりの燃やせるごみ量がどの程度か検証します。</p> <p>②「燃やせるごみ」から「プラスチックごみ」と「生ごみ」を除くことで「その他の資源物」に対する意識がどのように変化するかを検証します。</p> <p>③地域での共同利用に適した大型生ごみ処理機の開発・製品化のために必要なデータ収集を行います。</p> <p>④「プラスチックごみ」と「その他の資源物」の収集体制について検証します。</p>						
【主な事業費】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ処理機設置工事費 10,674 千円 ・ 生ごみ処理機借上料 9,387 千円 ・ 電気料 2,400 千円 						
【特定財源】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物減量再資源化等推進整備基金 23,065 千円 						
 <p>大型生ごみ処理機のイメージ</p>						
問い合わせ先	環境資源部 環境政策課長 古木			電話	724-4367	

件名		政策研究事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
19,235			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 101 ページ		
<p>少子高齢社会の進展、低迷を続ける経済状況などの社会状況の変化は、市民生活に大きな影響を及ぼしています。一方、地域主権改革が進む中、地域の現状に即した特長ある政策を打ち出すことが求められています。</p> <p>そこで、社会・経済状況の変化に的確に対応し、町田市が抱える課題を解決していくため、「町田市未来づくり研究所」を設置し、これからの時代に適した政策や施策の調査研究を積極的に推進していきます。</p>						
【事業の内容】						
<p>町田市の特性に応じた政策課題の研究及び政策の提言を行います。また、町田市の将来のあるべき姿を描く都市グランドデザインの調査研究を実施します。</p> <p>◆政策研究の流れ(イメージ)</p>  <pre> graph TD A[社会経済状況など 少子高齢化 地域主権改革 経済状況 市民ニーズ ...] --> B[情報収集・分析] B --> C[課題認識・ テーマ設定] C --> D[政策提言] D -.-> E[事業化検討 (庁内各課)] </pre>						
【主な事業費】						
・政策課題検討支援委託料		15,000 千円				
(都市グランドデザイン検討支援委託、政策研究支援等委託)						
【参考】						
政策研究を目的とした研究所は近隣自治体においては 6 自治体が設置しています。						
◆研究所一覧(近隣市)						
自治体名		政策研究所名				
港区		港区政策創造研究所				
新宿区		新宿自治創造研究所				
世田谷区		せたがや自治政策研究所				
荒川区		(公財)荒川区自治総合研究所				
八王子市		八王子市都市政策研究所				
相模原市		さがみはら都市みらい研究所				
問い合わせ先	政策経営部 企画政策課長 市川			電話	724-2103	

件名		旧本庁舎跡地整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
175,000			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 101 ページ		
<p>旧本庁舎跡地は、町田駅周辺地区に残る貴重な大規模な空間です。この特性を活かした跡地の活用が求められることから、2010年度から2011年度に町内会・自治会連合会、地元商店会等の代表者から構成された「町田市庁舎跡地等検討委員会」で検討が行われました。</p> <p>検討委員会では、旧本庁舎跡地の活用の基本方針を「近隣の住民はもとより他市からの来街者を呼び込めるような空間とし、子どもから高齢者まで、多世代の人々がその広大な空間で憩い・交流することを中心とした『賑わい』を創出する」とした報告を取りまとめました。</p> <p>この検討委員会の報告を受け、旧本庁舎跡地を「新たな賑わいを生み出す」ための芝生広場として整備します。芝生広場では、市の内外から多くの人を呼び込み、中心市街地の活性化に寄与するためのさまざまなイベントを開催します。芝生広場のオープンは、2014年春を予定しています。</p> <p>芝生広場の整備により、商業拠点である町田駅周辺地区の「まちの魅力」が向上し、市内だけではなく市外からも多くの人々が町田を訪れるようになること、また、芝生広場に多くの人が集い、憩い、交流することで、新たな回遊や滞留が生まれ、跡地周辺を含めた地域に活気や潤いが生み出されることが期待されます。</p> <p>なお、旧本庁舎跡地は、芝生広場として5年から10年をめどに活用し、その後、イベントや利用者の状況をみながら最終的な活用方法を検討します。</p>						
【事業の内容】						
<p>旧本庁舎解体後、芝生広場とするため電気設備、給排水設備、植栽等の工事を行います。また、イベントの訴求効果の検討や企画、立案など、広場の運営方法についての検討を行います。</p>						
【主な事業費】						
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場整備設計委託料 10,000 千円 ・芝生広場整備工事費 120,000 千円 ・トイレ設置工事費 25,000 千円 ・芝生広場運営方法等検討支援委託料 20,000 千円 						
						
問い合わせ先	政策経営部 企画政策課長 市川			電話	724-2103	

件名		備蓄物資等整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
101,271		0	0	0	0	101,271

Ⅱ 部・局別予算概要 181 ページ

【事業の背景・目的】

2012年4月に東京都が公表した多摩直下地震の被害想定では、これまでの想定を大きく上回り、町田市内においては、水・食料等を必要とする被災者が約93,000人、また、帰宅困難者が約87,000人発生するとされています。

この想定により、既に備蓄している物資の追加や、新たに必要となると想定される物資の整備を行います。

【事業の内容】

以下の物資・資器材等について、2013年度から5年間で整備します。

1 水・食料等を必要とする被災者向け

(1)水・食料

- ① 飲料水(ペットボトル 500ml) : 279,000 本(被災者の3日分)
- ② 食料(ビスケット・アルファ化米) : 837,000 食(被災者の9食分)

(2)その他物資

ガソリン、床敷きマット(エアマット)、レスキューシート、トイレトペーパー、生理用品、哺乳瓶、おむつ(子ども用・高齢者用)、ランタン、粉ミルク

2 帰宅困難者向け

(1)水・食料

- ① 飲料水(ペットボトル 500ml) : 87,000 本
- ② 食料(ビスケット) : 87,000 食

(2)その他物資

エアクッション、レスキューシート



<エアマット・レスキューシート使用例>

【主な事業費】

(単位：千円)

購入物資	水・食料等を必要とする被災者向け	帰宅困難者向け	計
飲料水	4,407	1,623	6,030
食料	21,923	748	22,671
その他物資	33,465	24,774	58,239
計	59,795	27,145	86,940

※上記の他、「バルーン投光器(12,936千円)」及び「避難施設(避難所)誘導標識(1,395千円)」を購入

問い合わせ先	市民部 防災安全課長 原	電話	724-3075
--------	--------------	----	----------

件名	胃の健康度チェック（ABC 検査）の導入					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,482		0	0	0	0	25,482

【事業の背景・目的】 Ⅱ 部・局別予算概要 266 ページ

市民の、胃がんを含む疾患の予防を推進するため、ヘリコバクター・ピロリ菌等の検査による「胃の健康度チェック(ABC 検査)」を 2013 年度から導入します。

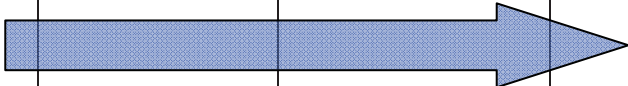
【事業の内容】

採血によるヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲンの検査により胃がんを含む疾患に罹るリスクを ABCD の群で判定します。血液検査でできるため、受診する方の体への負担が少ない検査です。

検査項目	ヘリコバクター・ピロリ抗体、ペプシノゲン
対象者	2013 年度末年齢 55 歳～64 歳(予定)
受診方法	市内協力医療機関に直接申し込み。年度内に 1 回受診可能。
受診間隔	5 年に 1 回
受診期間	2013 年 10 月～2014 年 2 月(予定)
実施場所	市内協力医療機関
周知方法	広報まちだ等

<検査の概要>

ヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無、胃粘膜の萎縮度を検査し、2 つの値から ABCD に分類し、胃の健康度を調べます。

	A 群	B 群	C 群	D 群	
ヘリコバクター・ピロリ抗体	－(陰性)	＋(陽性)	＋(陽性)	－(陰性)	
ペプシノゲン	－(陰性)	－(陰性)	＋(陽性)	＋(陽性)	
胃粘膜の状態	正常	軽度萎縮	中程度萎縮	高度萎縮	
胃疾患のリスク	低				高

【主な事業費】

ABC 検査委託料 21,233 千円



問い合わせ先	いきいき健康部 健康課長 敦賀	電話	724-5075
--------	-----------------	----	----------

件 名		中学校不適應生徒支援事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,392			0	0	0	41
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		525 ページ
<p>○ 背景</p> <p>中学校において暴力行為及びいじめ等の問題行動を繰り返す生徒及び心理的な要因による不登校生徒がいます。特に問題行動による学校規律が乱れ、他の生徒の学習が妨げられる状況が発生することが懸念されます。</p> <p>○ 目的</p> <p>学校内の秩序を守り、生徒が安心して学べる環境を確保するため、学習の妨げとなる暴力行為を繰り返す生徒に適切な個別指導措置を行ないます。又、心理的な要因により不登校又は不登校傾向にある生徒に対しては、個別指導及び小集団による体験活動を行なう居場所を作り、学校に通学できるように指導及び援助を行ないます。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>○ まちだJUKU</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市立中学校に在籍する生徒で、問題行動を繰り返す生徒に対して、一定期間個別の学習指導を行います。具体的には、教育センター内に個別対応する専門チーム（都非常勤教員、臨床心理士、嘱託職員）の事務局を設置し、学校長からの依頼により、専門チームを派遣します。生徒が在籍する学校内で一定期間、在籍校長の作成した個別指導計画書に基づき個別学習及びカウンセリングを行います。生活態度に改善がみられた場合は、学級に復帰させます。 ・生活態度に改善がみられなかった場合は、出席停止措置を行い、専門チームが一定期間個別指導計画に基づき校外での個別指導（勤労体験、カウンセリング含む）を行います。生活態度の改善が認められた場合には、出席停止の取り消しを行い、生徒を在籍校へ復帰をさせます。 <p>○ 中学校適応指導教室</p> <p>心理的な要因により不登校又は不登校傾向にある生徒に対して、個別指導及び小集団活動を通じて通級学級復帰への指導及び支援、カウンセリングを行います。</p> <p>なお、まちだJUKU、中学校適応指導教室とも 2013 年 6 月より生徒の受け入れを予定しています。</p> <p>【事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常勤職員報酬及び社会保険料・費用弁償等3名分 7,861 千円 ・ 消耗品費 231 千円(事務用品、教科書・教科指導書等) ・ 備品購入費 教室用什器備品 300 千円 (教室用机 椅子、JUKU事務局用事務机・椅子等) <p>【特定財源】</p> <p>非常勤職員等雇用保険被保険者負担金 41 千円</p>						
問い合わせ先	学校教育部 指導課教育センター担当課長 谷			電話	793-2481	

件名	図書館ICタグシステム導入事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
63,042		0	0	0	0	63,042

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 566 ページ

町田市立図書館の年間貸出数は、同規模自治体の中で全国1位(2010年度実績)であり、特に土・日曜日は、貸出カウンターが大変混み合っている状況です。そのため、カウンターにおける手続時間の短縮は多くの利用者の期待するところです。また、借りる資料をカウンターで見られたくないといった市民の要求も存在します。

そこで、すべての図書にICタグ等を貼付し、それに対応した自動貸出機を設置することで、待ち時間の短縮やセルフサービスを進め、市民サービスの更なる向上を図ります。また、ICタグの導入により、業務をより効率化させ、2015年度に予定されている(仮称)忠生図書館の開館に伴う増員を抑制します。

【事業の内容】

2015年3月からのサービス順次提供に向け、2013年度は、ICタグ導入に必要なシステムの開発に着手し、2014年度にかけて既存図書等へのICタグとカラーバーコードの貼付を行います。

ICタグ等の導入で、図書館はこうなります！

自動貸出機を導入します

— 文学館を含む全図書館に設置(予定) —
10冊程度を一括して貸出処理することができ、利用者でも貸出手続が簡単に行えます。これまで以上のプライバシー保護がはかれます。

セルフ予約資料受取コーナーを設置します

— 中央図書館、鶴川駅前図書館、(仮称)忠生図書館に設置(予定) —
図書館開館中は、セルフサービスで予約資料を借りられます。
鶴川駅前図書館、(仮称)忠生図書館では、図書館閉館後や休館日でも、
複合施設の開館時間内であれば予約資料を借りられます。

蔵書点検による休館日を減らします

蔵書点検が効率的に行えるため、蔵書点検による休館日を2日程度短縮します。

【事業費】

既存図書へのICタグ等装備委託料 54,000千円
(2013～2014年度債務負担行為事業 総事業費 108,000千円)
ICタグ装備システム借上料 9,042千円



自動貸出機のイメージ

問い合わせ先	生涯学習部 図書館長 尾留川	電話	728-8220
--------	----------------	----	----------